

市報ぎょうだ Gyoda

CITY PUBLIC RELATIONS

January 2026

1

No.955



酒巻14号墳出土埴輪(国指定重要文化財)(レプリカ)

令和8年年頭のごあいさつ

行田市市長 行田 邦子

新年明けましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい新年を健やかに迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

行田市は、本年1月1日に旧南河原村との合併から20年という大きな節目を迎えました。これまで地域の発展に力を尽くしてこられた全ての市民の皆様へ、改めて深く敬意と感謝を申し上げますとともに、先人の歩みをしっかりと受け継ぎながら、更なる発展に向けて市政運営を着実に進めてまいります。

さて、昨年を振り返りますと、「鬼滅の刃」を題材とした田んぼアートが大きな話題となり、行田タワーのエレベーターが最大4時間待ちとなるなど、国内外から多くのお客様にお越しいただきました。また、花手水ライトアップイベント「希望の光」や、秩父鉄道のご協力により実現したSLの市内初走行など、数々の取り組みを通じて、多くの方に本市へお越しいただくことができました。その結果、市内の飲食店や小売店にもお客様が訪れるなど、地域への波及効果も生じており



【5月】

小学校2校、中学校全8校で
文部科学省「AIの活用による
英語教育強化事業」の実証を開始

写真で振り返る
2025年



【7～10月】

『劇場版「鬼滅の刃」無限城編』との
コラボで行田タワー入館者数が過去最高に



【10～12月】

行田花手水タウン
特別企画 2025を開催



ます。以前から言われているように、本市には、多彩で価値ある地域資源が数多く存在しています。今後も、これらの魅力に一層磨きをかけ、訪れたくなるまちづくりを進めてまいります。

また昨年は、乗合型AIオンデマンド交通「うきしろ号」の運行開始や、義務教育学校設置に向けた再編計画の策定、老朽化した中心市街地の公共施設再編に向けたワークショップの開催など、行田の新たな未来へ向けて大きく動き出した一年でありました。

本年は、義務教育学校三校への再編の中でも一番に着手するBブロックの新校設置に向けた基本設計を予定しており、学校再編がいよいよ具体化していきます。さらに、皆様が楽しみにされているさきたま古墳公園への子どもの遊び場整備に向けた基本計画の策定も始まるなど、未来の行田を描くに当たり重要な一年となります。市民の皆様のご意見をしっかりと伺いながら、まちづくりに取り組んでまいります。

本年の干支は「丙午^{ひのえうま}」、勢いと活力が高まる年とも言われております。この好機を確かな力に変え、新しい行田へと、皆さんと一緒に歩みを進めてまいります。

結びに、本年が市民の皆様にとりまして、幸多き素晴らしい一年となりますことを心よりお祈り申し上げ、新年のごあいさついたします。



【1月】
乗合型AIオンデマンド交通
「うきしろ号」の運行開始



【3月】
行田タワー全国発射プロジェクトを開催



【5月】
6年ぶりにさきたま古墳公園で
さきたま火祭りを開催



【8月】
秩父鉄道SLパレオエクスプレス
「SL日本遺産のまち行田号」が市内を疾走



【9月】
行田羽生資源組合
ごみ処理施設の建設起工式を挙行



【10月】
行田古墳フェスティバルを開催

行田市は 合併20周年 を迎えました



行田市・南河原村合併記念式典の様子(平成18年1月)

行田市は、平成18(2006)年1月1日に、南河原村と合併し、今年で合併から20周年を迎えました。

今月の特集では、皆さんに改めて南河原地区のことを知ってもらうとともに、合併20周年記念事業について紹介します。

今後も、誰もが未来に向かって安心して暮らすことができるまちを目指し、市民の皆さんと一緒に歩みを進めていきます。

南河原村の誕生

南河原村は、明治22(1889)年4月に市制・町村制の施行に伴う全国規模での町村合併により、南河原村、犬塚村、中江袋村、馬見塚村が合併し誕生しました。



南河原役場の落成式(昭和4(1929)年)
出典:『南河原村閉庁記念誌』

年表

明治22年	南河原、中江袋、馬見塚、犬塚の4村が合併して南河原村に
平成元年	村制施行100周年
平成16年	全国初の汚泥再生施設「妻沼南河原環境浄化センター」完成
平成16年	埼玉県内最高記録交通死亡事故ゼロ7,000日達成
平成18年	行田市と合併

令和2(2020)年	平成31・令和元(2019)年	平成30(2018)年	平成29(2017)年	平成27(2015)年	平成26(2014)年	平成25(2013)年	平成24(2012)年	平成23(2011)年	平成22(2010)年	平成21(2009)年	平成20(2008)年	平成18(2006)年
------------	-----------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------

- ・行田市と南河原村と合併
- ・行田市を会場に埼玉B級ご当地グルメ王決定戦開催
- ・「行田ゼリーフライ」「行田フライ」のキャラクター「こぜにちゃん」「フラベえ」が誕生
- ・行田の魅力を伝える「忍城おもてなし甲冑隊」を結成
- ・関東初となるB級ご当地グルメの祭典「関東B-1グランプリ」行田を開催
- ・行田市を舞台にした映画「のぼうの城」が全国公開
- ・県内初の行田市定住促進基本条例を制定
- ・地域子育て支援センター「きつずプラザあおい」がオープン
- ・原付バイクご当地ナンバープレートの交付開始
- ・田んぼアートの大きさがギネス世界記録に認定
- ・「行田の足袋製造用具及び製品」が国登録有形民俗文化財に登録
- ・「和装文化の足元を支え続ける足袋蔵のまち行田」が県内初の日本遺産に認定
- ・忍城が「続日本100名城」に選定
- ・行田市指定有形文化財「旧忍町信用組合店舗」を活用したヴェール・カフェがオープン
- ・行田市市制施行70周年
- ・八幡通りで行田花手水まつり、行田はちまんマルシェを定期開催
- ・水城公園東側園地に「じゃぶじゃぶ池」を整備
- ・「行田の足袋製造用具及び関係資料」が国重要有形民俗文化財に指定

合併20年のあゆみ

旧南河原村について



旧南河原村は、埼玉県の北東部に位置し、北・東・南を取り囲むように旧行田市が、西を熊谷市が隣接し、合併前は埼玉県内で2番目に小さな自治体でした。

【合併当時】
面積 5.82 平方キロメートル
人口 4,222 人

村章



「ミナミ」を図案化したもので円は、村民の和を、上に開いたナは限らない発展を、ミは自由・平和・平等の精神を表現

村の花 コスモス



コスモスは「真心」、サザンカは「謙譲」を表しています。人を大切にする心と交流を村づくりの原点と考え、平成元年に村の発足100周年を記念して定められました。

村の木 サザンカ



村の特産品 南河原スリッパ



昭和29(1954)年ごろから始まったスリッパ製造。最盛期の昭和55(1980)年には年間約3,153万足を製造し、日本一の生産量を誇りました。

現在では、海外の特徴的な生地を使用し、人気を博しています。

令和7
(2025)年

令和6
(2024)年

令和5
(2023)年

令和4
(2022)年

令和3
(2021)年

- ・羽生市とごみ処理施設の共同整備に合意
- ・行田おもてなし観光局を設立
- ・観光物産館「ぶらっと♪ぎょうだ」がリニューアルオープン
- ・花手水のライトアップイベント「希望の光」を開始
- ・ゼロカーボンシティ宣言
- ・文化庁の「100年フード」にフライ・ゼリーフライが認定
- ・中央小・星宮小・荒木小・須加小・北河原小が閉校し、忍小・見沼小が開校
- ・新ごみ処理施設整備に向けて「行田羽生資源環境組合」を設立
- ・太田西小・太田東小が閉校し、太田小が開校
- ・観光物産館さきたまテラス・さきたまテラスゾーンがオープン
- ・こどもまんなか応援サポーターに就任
- ・三方領知替から200年
- ・南河原スリッパが21世紀商工会グランプリを受賞
- ・ヴェール・カフェが水城公園東側園地でリニューアルオープン
- ・所得制限のない3歳未満児保育料無償化を開始
- ・こども誰でも通園制度を開始
- ・行田古墳フェスティバルを初開催
- ・市の新たな総合指針「行田市基本構想」を策定
- ・日本版ライドシェアの運行開始
- ・乗合型AIオンデマンド交通「うきしろ号」の運行開始
- ・義務教育学校設置に向けた再編計画(個別編)を策定
- ・郷土博物館ミュージアムショップがリニューアル
- ・朝のこどもの居場所づくり事業を開始
- ・秩父鉄道SLパレオエクスプレス「SL日本遺産のまち行田号」が特別運行
- ・行田羽生資源環境組合ごみ処理施設の建設工事起工式を挙行
- ・『劇場版「鬼滅の刃」無限城編』とコラボした田んぼアートが大好評となり、行田タワー入館者数(7~10月)が過去最高を記録

1

南河原をもうちょっと知る

1

キタミソウ

キタミソウは北海道、九州の一部、埼玉県東部を中心とした北関東だけに見られる希少な植物で、絶滅危惧Ⅱ類に指定されています。国内最大規模の群生地である馬見塚橋周辺の星川沿いでは、3～4月頃、11～12月頃にわずか2ミリメートルほどの星形の白い花を咲かせます。



2

河原兄弟

河原太郎高直・次郎盛直兄弟は、平安時代末の武士で北河原・南河原あたりを所領していました。

寿永3(1184)年、源平一の谷の合戦「生田の森(現神戸市)」の戦いで、源氏方の先陣を駆け、壮絶な戦死を遂げた活躍が「平家物語」に記述されています。



平家物語巻九
(天和2(1682)年刊)
(国立公文書館蔵)

3

南河原石塔婆

観福寺(南河原1503)の境内にある2基の大型板碑で、河原兄弟の供養のために建てられたと伝えられている板状の石碑です。鎌倉時代中期の代表的な板碑として知られ、仏を表す種字の他に仏そのものの図像を彫り込んでいる点で珍しく、昭和3(1928)年に国の史跡に指定されました。



観福寺所有

4

馬見塚橋

昭和10(1935)年に上星川にかけられたコンクリート橋で、左岸には文化4(1807)年と安政5(1858)年建立の馬頭観音が祀られています。全体が波型をしたユニークな高欄と束柱側面の縞模様と高欄端部の渦巻き模様が施され、平成17(2005)年に土木学会により日本の近代土木遺産の一つに選定されました。



2

数字で見る行田市の20年 (※1)

人口

平成18(2005)年 (1月1日現在)	令和7(2025)年 (1月1日現在)
88,786 人	77,854 人

世帯数

平成18(2005)年 (1月1日現在)	令和7(2025)年 (1月1日現在)
31,465 世帯	36,395 世帯

出生数

平成18(2005)年 (12月31日現在)	令和6(2024)年 (12月31日現在)
718 人	336 人

ごみ排出量

平成18(2005)年度	令和6(2024)年度
34,604 t	26,293 t

製造品出荷額等

平成18(2005)年 (12月31日現在)	令和6(2024)年 (6月1日現在)
3,156億8,801万円	3,961億9,921万円

農業算出額

平成18(2005)年	令和5(2023)年
48億4,000万円(※2)	28億円(※3)

※1 ※2、3を除き出典は「統計ぎょうだ」

※2 出典は「平成18年生産農業所得統計」(農林水産省)

※3 出典は「令和5年市町村別農業産出額(推計)」(農林水産省)

合併20周年記念冠事業

行田市・南河原村合併20周年冠事業として9事業が選定されています。その多くは令和7年中に実施されましたが、本年に実施される事業もありますので、ぜひご参加ください。

	事業名	開催日・時期
1	行田市・南河原合併20周年記念展示	令和7年4月～令和8年3月
2	第28回ときめきレインボーフェスティバル(終了)	令和7年7月6日
3	南河原地区体育祭(終了)	令和7年10月5日
4	埼玉県芸術文化祭2025地域文化事業 第77回行田市文化祭(終了)	令和7年10月25日～11月23日
5	第72回ぎょうだ市民体育祭 ※中止	令和7年10月26日
6	パネル展示「南河原の歴史」	令和7年10月～令和8年2月
7	南河原ふれあい祭り(終了)	令和7年11月3日
8	第28回公募行田市美術展	令和8年2月20日～23日
9	第30回行田市公民館ふれあいコーラス発表会	令和8年3月7日

南河原ふれあい祭り

令和7年11月3日、合併20周年記念冠事業のひとつ、第17回南河原ふれあい祭りが南河原中学校で開催されました。ステージイベントや物販ブースは、多くの来場者で賑わいました。

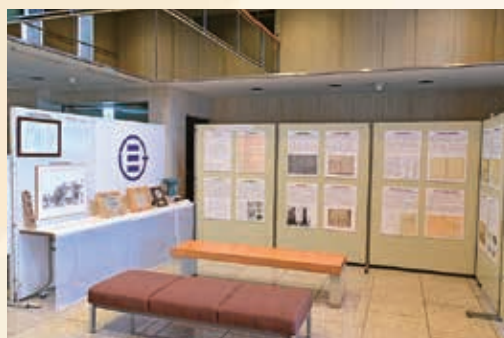


南河原ふれあい祭りの様子

パネル展示「南河原の歴史」

南河原地区の歴史と文化に関するパネル展示を開催しています。

展示を通じて、南河原の歴史や文化財を知ること、改めて郷土の歴史への認識を深めることができます。



南河原支所での展示の様子

合併20周年記念品

合併20周年を記念しオリジナルのタオルとエコバッグを作成し、南河原地区体育祭ではタオルを、南河原ふれあい祭りではエコバッグを参加者らに配布しました。



【会場・期間】

①南河原支所 ～2月27日(金)

②ヴェール・カフェ ～1月30日(金)

【開館時間】

いずれも施設の開館時間

【入場料】

無料

株式会社ハイデイ日高から寄付金が寄贈されました



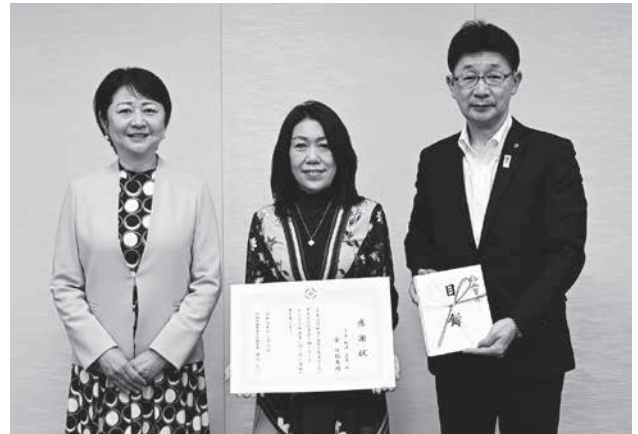
神田正代表取締役会長(右)と行田市長

12月4日、株式会社ハイデイ日高から「行田の桜の復活に役立ててほしい」と200万円の寄付をいただきました。

いただいた寄付金は、クビアカツヤカミキリの被害を受けた武蔵水路沿いの桜の植樹に活用させていただきます。

▶問い合わせ 商工観光課 ☎580—3012

泉小学校・西中学校のために寄付をいただきました



左から行田市長、柿澤益美さん、渡辺教育長

12月8日、門井町で飲食店を営む柿澤益美さんが市役所を訪れ、「市の教育の振興のために役立ててほしい」と50万円の寄付をいただきました。

いただいた寄付金は、泉小学校および西中学校の児童生徒たちのために、有効に活用させていただきます。

▶問い合わせ 教育総務課 ☎556—8311

ペットの火葬を開始します

2月1日(日)から斎場において、ペットの火葬を開始します。ご利用には事前の予約が必要です。

- ▶火葬開始日 2月1日(日)※1月29日(木)午前9時から予約受付開始
- ▶利用方法 電話による事前予約制(火葬枠に空きがある場合は当日受付可)
- ▶予約先 行田市斎場 ☎559—1996
- ▶利用時間 【単独火葬】午前9時、午前11時、午後1時(焼骨はお持ち帰り)
【合同火葬】午後3時(焼骨は返却せず、合同供養します)
- ▶火葬対象 50キログラム未満のペット
※「化製場等に関する法律」により、牛、馬、豚(ミニブタ含む)、めん羊および山羊は火葬の対象外
- ▶ご遺体の持ち込み方法
ご遺体を納める紙製または木製の箱(長さ115cm×幅55cm×高さ60cm以内で蓋の閉められるもの)を用意し、箱の底に綿または麻製の布やタオルを敷くか、ご遺体を布やタオルで包んでください。
- ▶その他 箱の中には、少量の可燃性の副葬品(生花、フードなど)を入れていただくことができますが、火葬炉の故障の原因や骨に影響を

及ぼす恐れがありますので、プラスチック、ビニール、金属、ガラス、化学繊維の布、人工皮などは入れることができません。
※火葬前に箱の中を確認しますので、蓋をふさがずにお持ち込みください。

▶火葬料金

		料金		
		単位	市民	市民以外
5kg未満	単独	1体	7,000円	21,000円
	合同	1体	3,500円	10,500円
5kg以上25kg未満	単独	1体	14,000円	42,000円
	合同	1体	7,000円	21,000円
25kg以上50kg未満	単独	1体	21,000円	63,000円
	合同	1体	10,500円	31,500円

※火葬料金はご遺体を納めた箱を含めた重さとなります。
※火葬前に斎場にて重さを計量します。

▶問い合わせ 市民課(内線248)

乗合型AIオンデマンド交通「うきしろ号」を利用してみませんか

乗合型AIオンデマンド交通「うきしろ号」は、令和7年1月の運行開始から1年を迎えます。この1年間は、利用者のご意見も踏まえた見直しや検証を行うための実証運行期間でしたが、1月6日(火)から本運行へ移行します。移行後も必要に応じた見直しを行いながら、市民の皆さんがより使いやすい公共交通を目指していきます。

なお、本運行への移行後も利用方法や運行内容に変更はありません。まだ利用者登録がお済みでない方は、ご登録の上、ぜひお出掛けにご利用ください。

▶ご利用までの流れ

- ①利用者登録申請書を交通政策課(18番窓口)に提出してください

提出方法：窓口、郵送(〒361-8601 行田市本丸2-5 行田市交通政策課)、電子申請・届出サービス、FAX(556-2117)のいずれか

- ②約2週間後に利用者登録完了通知が郵送されます

- ③通知が届き次第、予約できます



運行内容などの詳細や申請書のダウンロードはこちら



電子申請・届出サービス



～市の公共交通の担い手となるバスやタクシーなどの運転手を募集しています～

詳しくは、各運行事業者のホームページをご確認ください。



朝日自動車(株)



国際十王交通(株)



(株)大堰観光バス



昭和タクシー(株)

市内循環バスの位置がリアルタイムで確認できるようになりました

バスの位置情報をスマートフォンやパソコンで確認できるバスロケーションシステム「BusGO!」を市内循環バス(西循環コース、南大通り線コース、観光拠点循環コース)に導入しました。ぜひご利用ください。

▶「BusGO!」で確認できる情報

・時刻表 ・運行ルート ・バスの現在位置 ・バス停への到着予定時刻 ・運賃

▶行田市バスロケーションシステム「BusGO!」

URL <http://gyoda.bus-go.com>



BusGo!

Bus GO!のスマートフォンでの利用方法



- ①利用する路線
②利用する停留所
を選択してください

画像はイメージです。

注意事項



バスの走っている場所が
リアルタイムでわかります。

画像はイメージです。

▶問い合わせ 交通政策課地域交通担当(内線 284)

中心市街地の魅力を高めるため 公共施設再編事業に着手しています

市では現在、20校ある小中学校について、市内をA・B・Cの3つのブロックに分け、3校の義務教育学校に再編する「学校再編」を進めています。このうち、Bブロック（忍・行田・埼玉・太田中学校区）では令和12年4月の開校を目指し、A・Cブロックに先駆けて準備を進めています。

この学校再編により、市内には順次空き校舎が生じることが見込まれており、中心市街地にある忍小学校・忍中学校もこれに含まれます。そして、中心市街地にある市役所庁舎や産業文化会館などの公共施設は、いずれも建設から約60年を経過し、建て替えの時期を迎えつつあります。

また、現在の市役所の窓口は、市役所本庁舎の他、こども家庭センターや都市整備部など市内各所に分散していることから、公共施設の再編を行うことで、市民の皆さんの利便性を高めるとともに、効率的な行政を目指したいと考えています。

公共施設再編・まちづくりの方針

- ① 分散・老朽化する公共施設を機能的に再編
- ② 官民連携での整備により、まちの付加価値を向上
- ③ これらを通じた市民サービス・市民満足度の向上

推進体制

市では、この中心市街地の再編・再整備を目指し、令和7年4月から新たに「公共施設再編・まちづくり準備室」を立ち上げ、「行田市公共施設マネジメント計画」の改訂と併せて、公共施設の再編・再整備に向けた検討を行っています。

目指す姿

再編・再整備に当たっては、PPP・PFI(※)と呼ばれる官民連携手法の活用や、公共施設の集約・再編の際に生じる余剰地を、民間企業に活用していただくことを考えています。これまで公共施設中心だった市役所周辺を、公共施設と民間施設が併設する新しいエリアとして、市民の皆さんが誇りに思えるような空間の創出を目指します。

また、このエリアには水城公園も含まれており、歴史的資産と市民の憩いの場として親しまれてきたそのポテンシャルをさらに発展させていきます。

※公共施設などの建設、維持管理、運営などを民間の資金、経営能力および技術的能力を活用して行う手法のこと。



中心市街地

具体的な進め方

令和7年度

中心市街地の再編・再整備に向けた第一歩として、次の3つの取り組みを進めています。

- 1 市内企業向け官民連携勉強会
- 2 市民向けワークショップ
- 3 企業向けサウンディング調査

令和8年度以降

令和7年度の成果を生かしながら、中心市街地の再編・再整備に関する基本構想・基本計画の策定を行い、令和12年度以降の整備を目指して進めていきます。

長期間のプロジェクトとなりますので、さまざまな形で市民、市内企業の皆さんなどからご意見を伺い、検討していきます。

「市内企業向け官民連携勉強会」を開催しました

市では、この再整備を市内企業のビジネスチャンスにつなげるため、各金融機関などとの共催により、市内企業を対象とした「官民連携勉強会」を開催しました。

主 催

行田市

共 催

埼玉りそな銀行、地域デザインラボさいたま、
武蔵野銀行、ぶぎん地域経済研究所、埼玉縣信用金庫、
行田商工会議所、南河原商工会

開催日

令和7年10月15日(第1回)、10月30日(第2回)
11月26日(第3回)



第3回には行田市長も出席し、参加者が思い描く魅力的なまちの姿に関する発表を聞き、講評を行いました。また、「新しい行田」への期待に溢れる発表に、会場は大いに盛り上がりしました。

行田のまちなかをもっと魅力あふれる 素敵な場所へ！

市民ワークショップを開催します

再整備に当たっては、公共施設だけでなく新たに民間施設を導入するなど、市民・企業・行政にとって魅力的なまちの創出を目指していきます。

今回はそれに向けた第一歩として、市民の皆さんにとって魅力的な中心市街地を、市民の皆さんで考えるワークショップを開催します。

▶日 時 2月8日(日)・28日(土)、3月14日(土)の全3回 いずれも午後1時30分～3時30分

▶場 所 「みらい」または「VIVAぎょうだ」(詳細は参加決定後にお知らせ)

▶対 象 市内在住・在勤・在学し、原則全ての回に参加できる方

▶定 員 10人程度

▶申し込み 1月13日(火)までに二次元コードを読み取り申し込みフォームから送信または
Eメールで①～③を記載して公共施設再編・まちづくり準備室

【Eメール】shisetsu-machi@city.gyoda.lg.jp

【記載事項】①氏名、年齢、住所(市外在住の方は勤務先または通学先も記載)、
電話番号、Eメールアドレス

②子ども同伴の参加を希望する場合は、その旨と託児希望の有無

③中心市街地に欲しい機能がある場合は、その内容

▶そ の 他 ・応募多数の場合は地域や年代などを考慮して選定する場合があります。

※公募以外の方法と併せて全体では30～40人を想定

・参加者に対してのみ1月26日(月)までに連絡します。

・報酬はありません。

・ワークショップの様子は市報や市ホームページなどに掲載する場合があります。

・託児スペースおよび保育員を用意します。なお、子ども同伴の参加も可能です(学齢は応相談)。

▶問い合わせ 公共施設再編・まちづくり準備室(内線302)



申し込みフォーム



新しい民生委員・児童委員、主任児童委員を紹介します

令和7年12月1日付けで、新しい民生委員・児童委員137人、主任児童委員11人の方が、厚生労働大臣および埼玉県知事から委嘱を受けました。今回委嘱を受けた方々は、令和10年11月30日までの3年間、地域福祉の推進者として活躍していただきます。

民生委員・児童委員にはそれぞれ担当地区があり、担当する地区にお住まいの皆さんから、福祉に関する相談を受け、市の窓口や関係機関への橋渡しをするなどの支援をしています。住んでいる地域の民生委員・児童委員へ相談などをしてほしい方や、欠員地区で相談したい方は後任が決まるまで地域共生社会推進課へお問い合わせください。

西部地区

番号	再・新	氏名	担当地区など
1	新任	沼田 徳子	菅谷(埼玉トヨタ南側水路より北側)
2	新任	吉原 章子	菅谷(埼玉トヨタ南側水路より南側)
3		欠員	一持田(県道128号線より北側)
4	再任	寺田 正彦	一持田(県道128号線より南側)、県営持田団地
5	新任	大河原仁美	二持田第一
6	再任	富田 哲夫	持田五丁目(持田南公園北側通りより北側)
7	再任	小林栄治郎	持田五丁目(持田南公園北側通りより南側)
8	新任	宮崎 薫	持田長町
9	再任	木下 博義	持田菊野台
10	再任	今西 富子	持田砂原(四丁目6～13、18～21)
11	新任	森田 定雄	持田砂原(三丁目30～32)
12	新任	小池 晶子	持田砂原(二丁目18、三丁目28、29、四丁目1～5)
13	再任	橋崎 祐子	三井砂原
14		欠員	持田西
15	再任	平塚 文代	三持田東部、三持田大宮口
16	再任	西野 栄子	三持田西部
17	再任	新井 満	前谷
18	新任	小澤 善昭	棚田町一丁目(新幹線より南側、眞福寺西側通りより西側)
19	再任	小川 京子	棚田町一丁目(新幹線より南側、眞福寺西側通りより東側)
20	再任	本望 英子	棚田町二丁目
21	再任	田島喜美子	棚田町一丁目(新幹線より北側)
22	再任	野口 広子	門井町一丁目(ローヤルシティ行田北側通りより北側)
23		欠員	門井町一丁目(ローヤルシティ行田北側通りより南側)
24	再任	井上のぶ子	門井町二丁目
25	新任	吉澤 信行	第三門井(1～15)
26	再任	塚本 順子	第三門井(16～27)
27	新任	長島 善江	押上町(南大通より北側)
28	新任	島田 雅弘	押上町(南大通より南側)、門井団地
29	新任	小川 隆幸	西新町(7班～12班、14班～18班)
30	再任	木暮 要	西新町(1班～6班、13班)
31	再任	高金 典人	棚田町三丁目
32	再任	福島 和枝	深水町
33	新任	大澤 尚美	壱里山町
34		欠員	清水町(1～3番地)
35		欠員	清水町(4～14番地)
36	新任	佐藤絵理子	(主任児童委員)
37	再任	吉野 朋子	(主任児童委員)

東部地区

番号	再・新	氏名	担当地区など
1	再任	高橋 清	一桜
2	新任	吉川 正氣	二桜(秩父鉄道線路より南側)
3	再任	福田 淳一	二桜(秩父鉄道線路より北側)
4		欠員	三桜南部
5	再任	川崎 恵	三桜北部(主要地方道佐野・行田線西側)
6	新任	根岸 亜矢	三桜北部(主要地方道佐野・行田線東側)
7	再任	久保田勇次郎	桜ヶ丘(主要地方道佐野・行田線西側)
8	再任	座間 文子	桜ヶ丘(主要地方道佐野・行田線東側)、長野住宅
9	新任	小倉 光之	富士見東部
10	再任	粕谷よし子	富士見中央
11	再任	田中 恵二	富士見西部
12	新任	鳥海 和代	富士見北部
13	再任	野中 通弘	橋場1～3組
14	新任	沓名 市郎	橋場4～6組
15	再任	江森 淳子	田幡
16	新任	小菅喜美子	林
17	新任	岩田 正之	中斉(長野二丁目8～12、17～26、28、29)
18	再任	横田 敏江	中斉(長野二丁目27、30、三丁目1～8、13～16)
19	新任	川辺 光一	中斉(長野三丁目9～12、17～31)
20	再任	山下 順子	堀の内
21		欠員	つるまき
22	再任	東 義幸	万願
23	新任	新井 周治	白山、大下、新田
24	新任	白石 君江	藤原町東部
25	新任	菅野真知子	藤原町西部
26	新任	渡辺 国雄	藤原町中央
27	新任	伊藤 弘美	藤原町南部
28	再任	瀬戸 順子	若小玉勝呂(間之道、勝呂団地)
29	新任	金沢 勝明	若小玉勝呂(上一組、上二組)
30	再任	金子 彰	若小玉中央
31	新任	諏訪 孝子	若小玉南部
32	再任	天野智恵子	若小玉六本木
33	再任	松本幸太郎	下須戸(上組、元組、東組、大島)
34	新任	小川美知子	下須戸(中郷、須戸橋、間刈、新田、寺浦)
35	新任	小菅 誠	小針(県道上新郷埼玉線より東側)
36	新任	門井 輝秋	小針(県道上新郷埼玉線より西側)
37	再任	坂本 恵子	藤間、関根、真名板東
38	新任	柴崎 正	真名板(1番～3番、4番東地区)
39	再任	吉岡 昌子	真名板(4番三ツ家、5番、6番)
40	再任	青木 敦子	(主任児童委員)
41	再任	鈴木 幸江	(主任児童委員)

南部地区

番号	再・新	氏名	担当地区など
1	再任	継田由喜子	大町、一佐間
2		欠員	二佐間(一丁目3、5～9、13～15、二丁目1)
3	再任	渡邊 琴美	二佐間(一丁目16～20、26～30)
4	新任	福田 信夫	神明(二丁目2～11)
5	新任	植木 典任	神明(二丁目12～19)
6	再任	新井 恵子	三間(三丁目1～7、11、12、大字佐間)
7	新任	峯川 郁代	三間(三丁目8～10、13～27)
8	新任	大澤志津子	緑町
9	新任	横田 孝子	向友会(向町1、2、4～7、16、17、行田10、天満1)
10	新任	相原 道枝	向友会(向町3、8、9、11～15、18、19)
11	再任	中田 浩	向友会(向町20～29)
12		欠員	旭町(1～8)
13		欠員	旭町(9～16)
14	再任	木村まゆみ	富士山東
15	新任	高橋 和代	富士山西、上埼玉
16	再任	田村 均	百塚
17	再任	湯本 達夫	片原第一、第二、下埼玉
18	新任	小林 明子	片原第三、杉原
19	新任	島田 安子	利田、渡柳上・下
20	新任	佐藤さおり	野原、上手、谷端
21	新任	松崎 誠	野中、宿
22	再任	関根かほる	下忍
23	再任	海老島明美	堤根
24	新任	鷲巢 秀美	樋上、下忍団地
25	新任	鈴木 則行	(主任児童委員)
26	再任	青木 恵美	(主任児童委員)

中央地区

番号	再・新	氏名	担当地区など
1	新任	長島 淳子	中央、エクセル行田中央
2	再任	根岸 君枝	宮本
3		欠員	北谷区東町、一北谷
4	再任	藤野 友子	二北谷、六ツ門、帯廓
5	再任	小林 繁	本丸(本丸1、2、8～17、18の一部)
6	再任	中村 雅昭	一内、二内行田、元町
7	再任	北岡 公子	三内行田、大手町
8		欠員	一天満、二天満
9	再任	安原 初美	矢場一丁目5の一部、矢場二丁目
10		欠員	田町、上荒井
11		欠員	成田(本丸3～7、18～23、16の一部)
12	新任	青木 洋子	城西2丁目
13	再任	今井 秀和	城南
14		欠員	駒形
15	再任	ギャレダール心さ子	南駒形
16	新任	峯 義隆	西駒形
17		欠員	二持田第二(城西五丁目1～4、大字持田)
18	新任	渡部 要子	二持田第二(城西五丁目5～10、持田1丁目5～9)
19	新任	信澤理恵子	二持田第二(城西三丁目)、蔵場
20	新任	田村 隆信	下町、二本町
21	新任	森 政子	一本町、新町、八幡町
22	新任	種 路生	矢場一丁目
23	再任	瀧田 昭子	(主任児童委員)
24	再任	見澤はるみ	(主任児童委員)

▶問い合わせ 同課地域福祉担当(内線354・285)

北部地区

番号	再・新	氏名	担当地区など
1	再任	松本 浩	一谷郷
2	再任	柳川 秋則	柳坪
3		欠員	東台
4	新任	中原英理子	二谷郷東第一
5	再任	小山 治子	二谷郷新田 西・北部
6		欠員	二谷郷新田 東部
7	再任	大澤 永江	三谷郷(北部、薬師堂北側道路より北側)
8		欠員	三谷郷(南部、薬師堂北側道路より南側)
9	再任	櫻井 京子	二谷郷東第二
10	再任	木元 洋子	飯倉
11	新任	小林富美子	栄町
12	新任	原島七奈代	東栄
13		欠員	小橋団地
14	新任	田生 弘美	春日
15	再任	岡本 澄江	二斎条
16		欠員	一斎条、斎条団地
17	再任	石島 正己	一和田・二和田
18	新任	新井 英孝	上池守、下池守
19	新任	荒井 清二	中里、小敷田
20	再任	岩田 澄枝	皿尾
21	新任	木元 孝吉	荒木1区、2区
22	再任	浜島 賢一	荒木3区、9区(白川戸)
23	再任	柳原 祐子	荒木5区
24	新任	川嶋 悦子	荒木4区、荒木団地
25	新任	福田恵美子	荒木上宿、6区
26	新任	廣田 浩美	荒木7区、8区(小見)
27	再任	小巻 正夫	須加1区～3区(下中条)
28		欠員	須加4区～6区
29	再任	天沼 和子	須加7区～9区
30	再任	忍久保幸世	須加10区～12区
31	再任	手嶋 伸	上、久保、里前、天袋、立野
32	新任	家中 浩	北河原新田、酒巻上・下
33	再任	白根加久枝	南河原一区
34	新任	松本 春美	在家、中江袋の一部(北部)
35	再任	今村 政夫	南河原二区
36	再任	中原 定子	南河原三区南
37	新任	榊 慶裕	南河原三区北
38	新任	見澤 利夫	犬塚
39	新任	関和 進	馬見塚、中江袋の一部(南部)
40	再任	遠山 俊江	(主任児童委員)
41	再任	山口 直美	(主任児童委員)
42	再任	荒木 玲子	(主任児童委員)

令和8年

行田市二十歳を祝う会実行委員会 二十歳の抱負

1月11日(日)、産業文化会館ホールで令和8年二十歳を祝う会が開催されます。

ここでは、この式典の企画を行ってきた実行委員長と副実行委員長に二十歳を迎えた心境や抱負などを語ってもらいます。



「未来と生きる」

実行委員長 池崎 蒼空さん(行田中学校出身)

二十歳という人生の大きな節目を迎えるにあたり、これまで私たちを支え、見守ってくださった皆さまに深く感謝申し上げます。

私たちはまだ成長の途中にあり、多くを学び続けなければなりません。しかし同時に、未来を担う世代として、新たな社会をつくる力と責任を持っています。

行田市は、忍城をはじめとする歴史と文化が息づくまちです。先人たちは度重なる困難にも屈せず、誇りを胸に歩みを進めてきました。その精神は、私たちがこれから生きる時代においても、変わらず引き継ぐべき大切な価値であると感じています。

社会が大きく変化する現代において、私たちは思考を止めず、自らの言葉で語り、自らの選択に責任を持つ大人でありたいと考えます。そして、このまちに育てられた者として、地域への関心と誇りを忘れず、それぞれの立場から社会に貢献できる存在となることを誓います。

私たちの未来は、私たち自身の歩みによって形づくられます。次世代を担う社会の一員として、その一歩を力強く踏み出します。



「感謝」

副実行委員長 白根 雛花さん(行田中学校出身)

二十歳という節目を迎え、改めて「感謝」という言葉を心に刻みたいと思います。ここまでの二十年間を振り返ると、当たり前のように思っていた日々の一つひとつが、多くの人の支えによって成り立っていたことに気づかされます。家族、友人、学校や地域でお世話になった方々、その誰が欠けても、今の私はいなかったはずです。

どんな時も見守り、背中を押してくれた家族。挫折した時は優しく寄り添い、挑戦すると決めた時は全力で応援してくれる。そんな家族の支えが、何よりの力でした。また、友人たちの存在も、日々を明るく彩ってくれた大切なものです。笑い合い、悩みを共有し、ときにはぶつかり合いながら共に成長してこられた時間は私の宝物です。

そして、地域の方々や学校の先生方をはじめ、これまで関わってくださった全ての方にも、心から感謝申し上げます。安全を守り、真っ直ぐに生きていく道標を示してくださったおかげで、ここまで成長することができました。

これからは、いただいた優しさや心遣いを周りの人へ返すとともに、他の誰かにも渡していくことのできる大人でありたいと思います。感謝の気持ちを忘れず、自分にできることを丁寧に積み重ね、小さくても確かな形で社会に貢献していけるよう努めます。

二十歳という節目を機に、これまで支えてくださったすべての方々へ、改めて深く感謝申し上げます。

世界最大の田んぼアート×『劇場版「鬼滅の刃」無限城編』を振り返る

2025年、本市が誇る「世界最大の田んぼアート」は大反響をいただき記録と記憶に残る『最高傑作』となりました。昨年12月に刈り取り作業が終了し、また2026年の新しいテーマに向け準備を進めていきます。



新記録 絵柄制作 部門

- 使用した杭の本数 1万275本
- 使用したロープ延長 約10キロメートル
- 田植えボランティアの参加人数 676人

最高記録を更新しました



新記録 行田タワー大盛況 部門

- 行田タワー（古代蓮会館）入館者数
4～11月末時点 16万8,618人
- 来場者の市内回遊により市内の飲食店や商店などの売上増
- 多くのメディアに取り上げられ、SNSでトレンドランキング上位を獲得



5・6月
杭打ち・ロープ引き作業



6月14・15日
田植え



7～11月
にぎわう行田タワー



10月18日
稲刈り体験



刈り取られた田んぼアートのお米は？

背景部分に使用した「彩のかがやき」は田植えの参加者などに配布されます。

絵柄部分に使用した黒や白の稲は飼料とすることで、全ての田んぼアート米は無駄なく活用されます。



▶問い合わせ 田んぼアート米づくり体験事業推進協議会事務局（農政課内） ☎580—3013

令和8年度(令和7年分) 市民税・県民税 申告相談

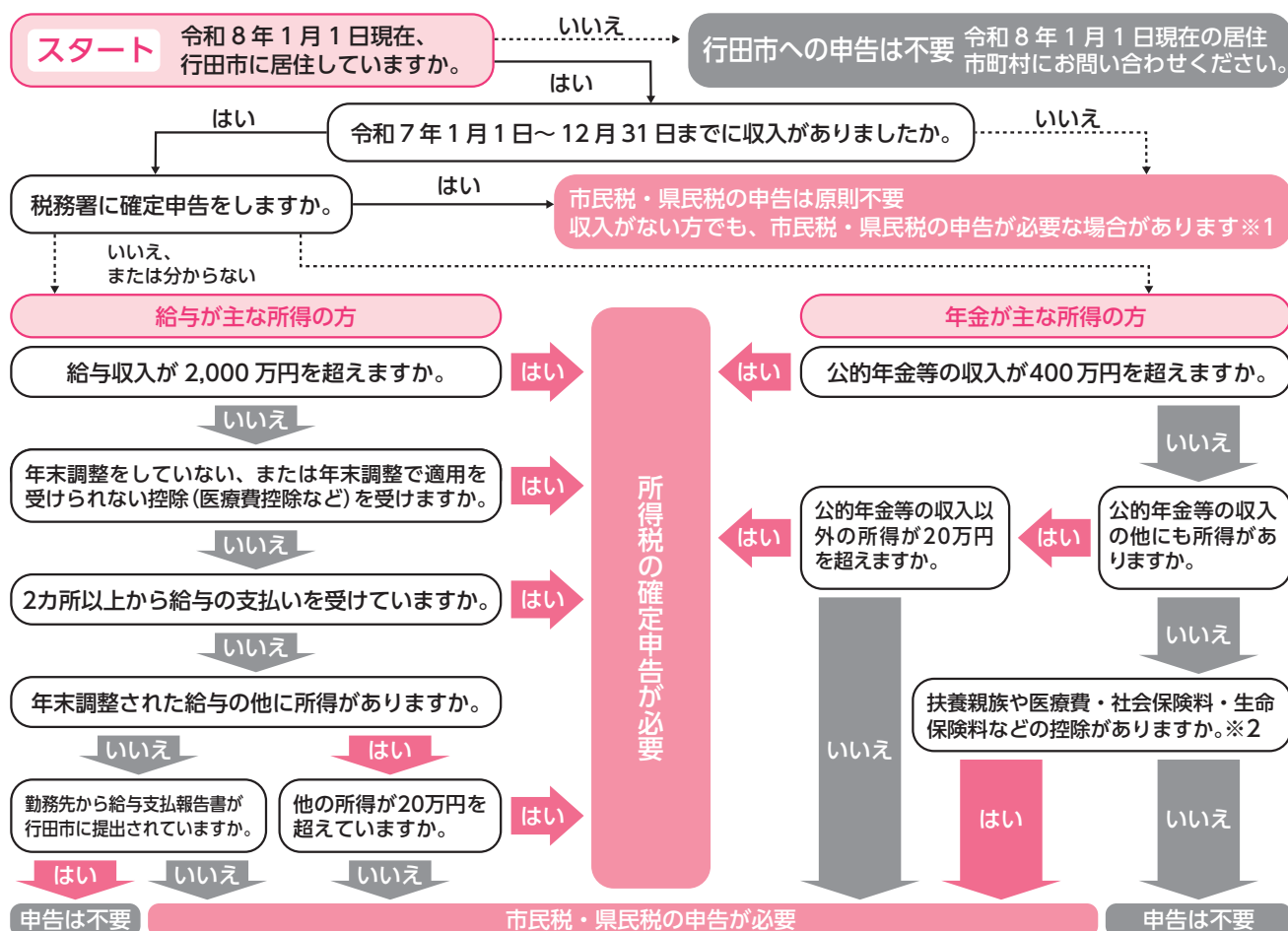
市民税・県民税の申告は、前年1年間の所得に対する税額を適正に算出するための課税資料として、申告書を提出していただくものです。

申告相談期間は
2月12日(木)～3月16日(月)

4つのお願い

1. 税務署から送付された確定申告に関する書類がある方は、その書類（「確定申告のお知らせ」はがきや確定申告書類など）を必ずお持ちください。
2. 例年、税務署で申告相談をされている方は、後日のトラブルを避けるため、引き続き税務署での申告をお願いします。
3. 申告相談実施期間中は、市役所税務課窓口での申告相談は受け付けていませんので各会場へお越しください。
4. 風邪症状のある方、体調のすぐれない方は来場をお控えください。

市民税・県民税の申告が必要な方



※1 所得のない方でも、国民健康保険・後期高齢者医療保険などの各種手続きで申告が必要な方や税証明書が必要とする方は、市民税・県民税の申告が必要です。

※2 確定申告が不要な方でも、公的年金等から所得税が源泉徴収されている場合は、確定申告をすると所得税が還付される場合があります。

申告会場に行く前に

- 事業所得(営業・農業)、不動産所得がある方は、収入と経費を計算した収支内訳書を作成してください。
 - 医療費控除を受ける方は、医療費控除の明細書を作成してください。
- ※収支内訳書・医療費控除の明細書が完成していないと申告相談を受けられません。

▶ 所得税の確定申告についての問い合わせ

行田税務署☎556—2123（直通）

▶市民税・県民税の申告についての問い合わせ

税務課市民税担当(内線231、232)

お持ちいただくもの

- ①収支計算の分かる書類(事業・不動産収入)
- ②源泉徴収票※会社などにお勤めの方や公的年金等を受給されている方
- ③各種控除証明書(生命保険料控除証明書、寄附金受領証など)
- ④医療費控除の明細書
- ⑤その他必要な証明書類
- ⑥本人確認書類(運転免許証など)
- ⑦口座番号が分かるもの(税金の還付がある場合)
- ⑧税務署からの「確定申告のお知らせ」はがきや確定申告書類(お持ちの方)
- ⑨室内履き(行田グリーンアリーナの場合)
- ⑩スマートフォン(マイナポータルアプリを事前にインストール)
およびマイナンバーカード(暗証番号が必要)

令和8年度(令和7年分) 市民税・県民税申告相談開催日程

対象地区以外でも申告相談できますので、都合の良い会場にお越しください。

※受付開始は午前9時からです。準備の都合上、受付開始時間前の来場および順番待ちは行わないようにお願いします。

【受付時間：午前9時～午後3時】※2月15日(日)は午前9時～正午

期 日	曜 日	会 場	対 象 地 区 (参考)	混雑予想
2月12日	木	中央公民館 〔「みらい」内〕 第1・2学習室	清水町、城西1～5丁目、城南	大混雑 ■■■■■
13日	金		大字佐間、佐間1～3丁目	混雑 ■■■■□
15日	日		全地区対象 ※午前9時～正午	大混雑 ■■■■■
17日	火		駒形1・2丁目、関根、渡柳、利田、藤間	混雑 ■■■■□
18日	水		前谷、野、大字埼玉	大混雑 ■■■■■
19日	木		小針、下忍、樋上	混雑 ■■■■□
20日	金		堤根、下須戸、真名板	混雑 ■■■■□
25日	水	〔行田グリーンアリーナ〕 2階研修室	斎条、皿尾、和田、荒木	大混雑 ■■■■■
26日	木		上池守、下池守、中里、小見、白川戸	混雑 ■■■■□
27日	金		大字谷郷、谷郷1～3丁目	大混雑 ■■■■■
3月2日	月		若小玉、桜町1～3丁目、富士見町1・2丁目	混雑 ■■■■□
4日	水	総合福祉会館 〔やすらぎの里〕 第3研修室	須加、酒巻、下中条	大混雑 ■■■■■
5日	木		犬塚、馬見塚、中江袋、北河原	混雑 ■■■■□
6日	金		南河原	混雑 ■■■■□
10日	火	商工センター	押上町、棚田1～3丁目、忍1・2丁目、大字忍、栄町、緑町	大混雑 ■■■■■
11日	水		中央、西新町、持田1～3丁目、門井町1～3丁目	大混雑 ■■■■■
12日	木		持田4・5丁目、藤原町1～3丁目、旭町、向町、本丸	混雑 ■■■■□
13日	金		矢場1・2丁目、大字長野、長野1～5丁目、行田、小敷田	大混雑 ■■■■■
16日	月		大字持田、天満、宮本、壱里山町、深水町	混雑 ■■■■□

※受付開始～午前中は混みます。時間には余裕をもってお越しください。

受け付けできない申告

次のような申告は市の申告相談ではお受けできませんので、行田税務署にご相談ください。

- 消費税や贈与税に関する申告
 - 配当所得・一時所得に関する申告
 - 株式や土地の譲渡に関する申告(収用を含む)
 - 繰越損失に関する申告
 - 青色申告
 - 先物取引に関する申告
 - 住宅ローン控除に関する初年度申告
 - 予定納税のある申告
 - 過去(令和6年分以前)の申告
 - 亡くなられた方の申告
 - 国外居住親族に係る各種控除を受けようとする方の申告
- ※上記以外の申告でも、内容によっては税務署にご案内する場合があります。

スマートフォン・パソコンから電子申告ができます

「マイナンバーカード」をお持ちの方は、eLTAX(エルタックス)ホームページ、市ホームページおよびマイナポータルから申告できます。自宅で簡単に申告書の作成ができますので、ぜひご利用ください。

※「eLTAX」とは、インターネットを利用して地方税の申告や納付をするためのシステムのことです。

納期のお知らせ(1月分)

納付書や口座振替で納めていただく方(普通徴収)

- 国民健康保険税・・・・・・・・・・・・・7期
- 介護保険料・・・・・・・・・・・・・7期
- 後期高齢者医療保険料・・・・・・・・・・・・・7期

- 市税などの納付には、「安心！確実！便利！」な口座振替をご利用ください。
- 納付の相談は随時窓口で実施しています。
- ▶問い合わせ 収納課(内線236・237)

納期限 2月2日(月)



「スマートフォンで確定申告」 相談会のお知らせ

スマートフォンとマイナンバーカードを使い、e-Taxによる令和7年分所得税の確定申告書の作成から提出までを説明する申告相談会を開催します。当日、必要書類を全て用意している方は申告を行うこともできます。

- ▶ **日 時** 2月3日(火)午前10時または午後2時開始の各2回
- ▶ **場 所** 中央公民館第1学習室
- ▶ **対 象** 次のいずれかに該当する方
 - ・年末調整が済んでいて、医療費控除やふるさと納税などの寄附金控除の申告をする方(確定申告を行う方はふるさと納税ワンストップ特例の対象分も併せて申告が必要です)
 - ・年末調整が済んでいない方、または2カ所以上の給与所得がある方
 - ・国民年金や企業年金などの雑所得がある方
- ※事業所得、農業所得、不動産所得、土地建物および株式の譲渡所得、住宅借入金等特別控除などがある方を除く。
- ▶ **定 員** 各回先着30人(当日の午前9時に会場受付で入場整理券を配付します)
※電話による事前予約は受け付けていません。
- ▶ **用意するもの** スマートフォン、マイナンバーカード、マイナンバーカードのパスワード2種類(①英数字6～16桁②数字4桁)、申告に必要な書類(収入や控除に関する支払金額などが分かる書類)
※使用可能なスマートフォンやマイナンバーカードおよび申告に必要な書類をお持ちでない方は相談ができない場合があります。
- ▶ **問い合わせ** 行田税務署個人課税部門 ☎556—2123 (直通)

ご存知ですか 教育振興奨励金

市では、学校教育の他、市内で教育振興に沿った活動を行っている個人や団体の皆さんを対象に奨励金を交付しています。

- ▶ **申請期間** 2月2日(月)～20日(金)
- ▶ **対 象** 社会教育、スポーツ活動および青少年の非行化防止活動の充実・向上のための事業(広く市民に周知して参加を呼びかける事業)
- ▶ **交付限度額** 個人の場合……5万円
団体の場合……10万円
- ▶ **申し込み・問い合わせ**
教育総務課総務担当 ☎556—8311

令和7年分の確定申告のお知らせ

行田税務署では、所得税・個人消費税・贈与税の確定申告会場を開設します。

なお、確定申告にはスマートフォン・パソコンから国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」を利用し、自宅などから確定申告ができるe-Taxが便利です。その際、「マイナポータル連携」を利用すると、確定申告書の該当項目が自動入力されるため、医療費やふるさと納税などの情報を1件ずつ入力する必要がなく、書類の提出や保存も不要です。また、給与所得(源泉徴収票がe-Taxで提出されている場合)や公的年金などの源泉徴収票の情報なども自動入力の対象になります。マイナポータル連携を利用する場合は事前準備が必要となりますので、早めの準備をお願いします。

- ▶ **受付日時** 2月16日(月)～3月16日(月)午前8時30分～午後4時(午前9時から相談開始) ※土・日曜日、祝日を除く
※確定申告会場への入場には、国税庁LINE公式アカウントから事前に取得した入場整理券が必要です。
- ▶ **場 所** 行田税務署(栄町17-15)
- ▶ **閉庁日の相談** 3月1日(火)に限り、熊谷税務署(熊谷市仲町41)で申告相談を行います。行田税務署での業務は行っていませんのでご注意ください。
- ▶ **注意事項**
 - ・確定申告会場は、原則マイナンバーカード方式によるスマートフォンを利用した申告相談を行っています。
 - ・マイナンバーカードと併せてパスワード(①英数字6～16桁②数字4桁)を事前にご準備ください。
- ▶ **そ の 他** 1月5日(月)～2月13日(金)に所得税・個人消費税・贈与税の申告相談を希望される方は、事前に電話予約してください。
- ▶ **予約・問い合わせ** 行田税務署 ☎556—2123 (直通)



確定申告書等
作成コーナー



マイナポータル
連携



国税庁LINE
公式アカウント

ご参加ください 冬のエコライフDAY

「1日環境に良いことをする日」を決めて、チェックシートを基に、省エネ・省資源など環境に配慮した生活を送る「エコライフDAY」。地球温暖化防止のため、エコライフDAYに参加して、ご自身のライフスタイルを見直すきっかけにしてみませんか。

- ▶ **実施期間** 3月31日(火)まで
- ▶ **参加方法** 県ホームページ「エコライフDAY & WEEK 埼玉特設サイト(<https://ecolife-saitama.jp>)」からご参加ください。
- ▶ **問い合わせ** 環境課 ☎556—9530

就学援助費の申請を受け付けています

経済的な理由により就学が困難な小・中学校児童生徒の保護者の方に、就学費用の一部を援助しており、令和8年度分の申請を受け付けています。

なお、令和7年度受給していた方が、来年度も継続して受給を希望する場合も、改めての申請が必要となりますのでご注意ください。

- ▶ **対 象**
- ・児童扶養手当(児童手当とは異なります)を受給している世帯
 - ・生活保護に準ずる程度に生活が困窮されている世帯の方など
- ▶ **申請期限** 3月31日(必着)
- ▶ **そ の 他**
- ・詳しくは市ホームページをご確認ください。
 - ・新入学児童生徒学用品費の申請も受け付けています。(令和7年12月26日までの申請期限に間に合わなかった方または申請期限以降に転入された方)
- ▶ **申し込み・問い合わせ**
教育総務課総務担当 ☎ 556—8311

ご利用ください 入学準備金貸付制度

市では、高校・大学などへ入学を希望する方の保護者に対して、経済的負担の軽減を図るため、入学準備金の貸し付けを行っています。

- ▶ **申請期間** 2月2日(月)～20日(金)
- ▶ **貸付金額**
- ①大学、短大および専門課程を置く専修学校の場合……30万円以内
 - ②高校、高専および高等課程を置く専修学校の場合……20万円以内
- ▶ **対 象** 申請時点で市内に6カ月以上居住し、市税を完納している方
※連帯保証人(本市に居住し、一定の職業または相当の資産を有する方)が必要です。
- ▶ **申請時に添付する書類**
- ①在学または出身学校長が大学・高校などの長に提出する調査書の写し
 - ②家庭調書
 - ③住民票の写し(世帯全員)
 - ④承諾書
- ▶ **貸し付け決定後に提出する書類**
- ①借用書※連帯保証人が必要
 - ②入学許可書または合格通知書
- ▶ **返還方法** 3カ月を据え置き、大学については50カ月以内、高校については35カ月以内で毎月の分割払い
- ▶ **申し込み・問い合わせ**
教育総務課総務担当 ☎ 556—8311

小・中学校の指定学校変更について

市では、小・中学校の通学区域を規則で定めていますが、次に該当する場合は保護者の申し立てにより、教育委員会が指定した就学すべき学校(指定学校)を変更することができる場合があります。

▶ 指定学校変更(区域外就学)許可基準

対象種類	該当学年	許可基準	許可期間	添付書類
最終学年	小学6年生 中学3年生	最終学年途中で転居・転出し、通学上および指導上支障がない場合	卒業までの期間	—
学期途中	小学1～5年生 中学1～2年生	学期途中で転居・転出し、通学上および指導上支障がない場合	学期末までの期間	—
住宅新築および転居予定	全学年	<ul style="list-style-type: none"> ・家屋登記、住宅ローンなどの融資手続きのため住民票のみ異動した場合 ・自宅の新築およびマンション・アパートの入居などによる転入、転居予定があり、通学に支障がない場合 	入居予定日までの期間	次のいずれか <ul style="list-style-type: none"> ・建築確認書 ・工事請負契約書 ・売買契約書 ・賃貸契約書 ・完成引渡し証明書
両親共働きなど留守家庭	全学年	保護者が共働きなどにより留守になる家庭で、祖父母などの家から就学する場合	事由の存在する期間 ※事由の確認のため、毎年度申立書の提出が必要	次のいずれか <ul style="list-style-type: none"> ・勤務証明書 ・営業証明書
身体的および精神的理由	全学年	<ul style="list-style-type: none"> ・身体的理由で、通学途中の安全確保の場合 ・登校拒否が客観的に予想される場合 	事由の存在する期間	身体的理由の場合 <ul style="list-style-type: none"> ・医師の証明書 精神的理由の場合 <ul style="list-style-type: none"> ・学校長の意見書
家庭の事情により住所異動できない方	全学年	市内に居住していることが証明され、学区内の学校へ就学する場合	住民登録が行われるまで	次のいずれか <ul style="list-style-type: none"> ・賃貸契約書 ・民生委員・児童委員が記載した居住証明書
特別支援学級に入級する方	全学年	就学指定校に該当する特別支援学級がない場合	卒業するまで	—
地域的事情	全学年	教育委員会が指定学校の変更を認めている地域	卒業するまで	—

▶ 指定学校を変更することができる場合の手続き

令和8年度に小・中学校に入学する方は、2月13日(金)までに指定学校変更申立書を教育総務課に提出してください。教育委員会による審査後、変更承諾書を交付します。その他の方については、随時受け付けます。

▶ **相談・申請・問い合わせ** 教育総務課総務担当 ☎ 556—8311

ひとり親家庭などの手当のご案内

市では、ひとり親家庭などに対する支援を行っています。

児童扶養手当

ひとり親家庭または配偶者が重度の障害者の場合で、18歳までのお子さん(お子さんが一定の障害を有する場合は20歳未満まで)を養育している方に支給します。手当は、申請を受け付けた翌月分から対象となりますが、受給資格者や生計を共にしている扶養義務者の所得によっては手当が支給されない場合があります。

●次のいずれかに該当するお子さんを養育している父もしくは母、または父母に代わってそのお子さんを養育している方に支給します

- ・父母が婚姻を解消したお子さん
- ・父または母が重度の障害の状態にあるお子さん
- ・父または母が死亡したお子さん
- ・父または母に1年以上遺棄されているお子さん
- ・父または母が1年以上拘禁されているお子さん
- ・父または母が裁判所からのDV保護命令を受けたお子さん
- ・婚姻によらないで生まれたお子さん

※障害年金を受給している方で、児童扶養手当の額が障害年金の子の加算部分の額を上回る場合、その差額を受給できます。遺族年金、老齢年金、労災年金、遺族補償などの障害年金以外の公的年金や障害厚生年金(3級)のみを受給している方で、その額が児童扶養手当の額より低い場合は、差額分が手当として支給されます。

●次のような場合には受給は受けられません

- ・申請者やお子さんが日本国内に住所を有しないとき
- ・お子さんが児童福祉施設などに入所しているとき

- ・父または母が婚姻しているとき(内縁関係にある場合や事実上婚姻関係にある場合を含む)

特別児童扶養手当

精神または身体に一定の障害がある20歳未満のお子さんを養育している方に支給します。手当は、申請を受け付けた翌月分から対象となりますが、養育者の所得によっては支給されない場合があります。

●次のような場合には受給は受けられません

- ・申請者やお子さんが日本国内に住所を有しないとき
- ・お子さんが障害による公的年金を受けることができないとき
- ・お子さんが児童福祉施設などに入所しているとき

ひとり親家庭等児童養育手当

ひとり親家庭で義務教育期間中のお子さんを養育している方に手当を支給します。

●次のいずれかに該当するお子さんを養育している父もしくは母、または養育者に支給します

- ・父もしくは母、または父母の双方が死亡したお子さん
- ・父母が婚姻(事実上婚姻関係と同様の事情にある場合を含む)を解消したお子さん
- ・婚姻によらないで生まれたお子さん

●次のような場合には受給は受けられません

- ・生活保護を受給している世帯
- ・保護者の現年度(4～7月分の手当は前年度)の市民税所得割が課税されている世帯

▶問い合わせ 子ども未来課手当・給付担当(内線292・297)

病児保育所げんきキッズをご利用ください

病児保育所げんきキッズは、保護者の就労などにより、病気中もしくは病気回復期にあるお子さんを家庭で保育できない場合に、一時的に保護者に代わりお子さんをお預かりする施設です。

▶施設名 病児保育所げんきキッズ(小見1401-1 南川げんきクリニック隣) ☎090-8111-8751

▶対象児童 乳幼児～小学6年生

▶保育時間 月～金曜日(祝日、年末年始などの期間を除く)午前8時～午後6時

▶利用料金 2,000円(市民税非課税世帯および生活保護受給世帯は無料)※別途おやつ代200円

▶利用方法

- ①事前に「病児・病後児保育利用者登録書」を病児保育所げんきキッズに提出して登録をしてください。預ける当日でも登録できます。
- ②主治医や小児科医の診察を受けてください。
- ③原則として保育希望日の前日までに予約してください。当日でも空きがあれば預けられますが、来所前に電話連絡をしてください。
- ④利用当日に「病児・病後児保育利用申請書」を提出してください。

▶利用当日に持参するもの

- ①病児・病後児保育利用申請書
- ②健康保険証
- ③子ども医療費受給資格証
- ④医師の処方した薬(昼1回分)
- ⑤薬の説明書
- ⑥着替え(下着を含む)
- ⑦ハンドタオル2枚
- ⑧ビニール袋2枚
- ⑨昼食(症状に合わせたもの)
- ⑩母子手帳
- ⑪ミルク・哺乳瓶(乳幼児のみ)
- ⑫紙おむつ・おしりふき(乳幼児のみ)
- ⑬非課税証明書(非課税世帯のみ)



▶問い合わせ 子ども未来課子ども・子育て担当(内線297)

事業者の皆さんへ 小針クリーンセンター処理手数料を改定します

彩北広域清掃組合小針クリーンセンターでは、ごみ処理に要する経費を適正にご負担いただくため、4月1日(水)から次のとおり処理手数料を改定します。皆さんのご理解とご協力をお願いします。

▶処理手数料

取扱区分	単位	新料金	旧料金
事業活動に伴う可燃物	10キログラムにつき	180円	150円

※事業活動に伴う可燃物とは、会社や事業者(内職なども含む)が、事業活動を行う上で発生するごみ(産業廃棄物は含まず)で、家庭から搬出される「燃やせるごみ」と同等の物をいいます。

例：会社などから発生する厨房の生ごみ、焼却が必要な紙類、植木・草など

▶問い合わせ 小針クリーンセンター ☎559—3641



家庭で不要になったパソコンを 無料回収します

市では、小型家電リサイクル法の認定事業者であるリネットジャパンリサイクル株式会社と協定を締結し、家庭で不要になったパソコンの宅配便による無料回収を行っています。

なお、粗大ごみ集積所への排出や粗大ごみ処理場への直接搬入も可能です。

▶利用手順

①同社ホームページ (<https://www.renet.jp>) から必要事項を入力して申し込んでください。

※データ消去は有料で同社に依頼するか、ご自身で行ってください。「パソコンのデータ消去について」の選択画面で「ご自身で消去する」を選択すると無料消去ソフトがダウンロードできます。

②パソコンなどを段ボールまたは厚手の紙袋に詰めてください。

※パソコンを梱包する段ボールは各自で用意してください(購入可)。段ボール1箱分(3辺の合計が140センチメートル以内、重さ20キログラム以内)または紙袋1袋分(重さ20キログラム以内)の回収料金が無料になります。

③宅配業者が希望日時(最短翌日)に自宅から回収します。

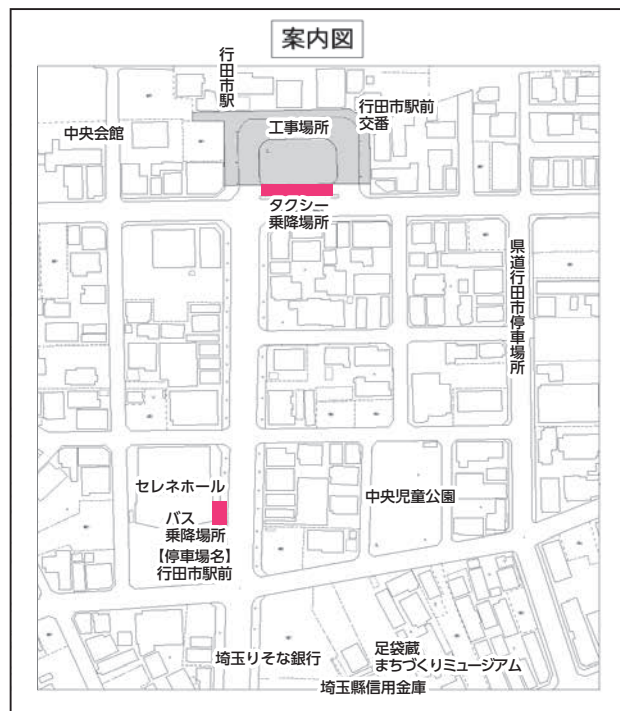
▶問い合わせ 環境課 ☎556—9530

行田市駅南口駅前広場再整備工事について

市では、歴史的資源を生かした快適に交流できる空間の確保、中心市街地の魅力を生かした「居心地が良く歩きたくなるまちづくり」の実現を目指す道路整備として、本年度「行田市駅南口駅前広場再整備工事」を実施します。

工事に当たり、1月26日(月)から行田市駅南口ロータリーの通行止め、タクシー・バス乗降場の移動などを伴う交通規制を実施します。

ご利用される方にはご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いします。



▶問い合わせ 道路治水課道路建設担当(内線5713)

不法ヤードを防止しましょう ～土地を貸す(売る)場合はご注意を～

「ヤード」とは、自動車などの保管・解体に使われる施設のうち、みだりに人が立ち入ることができないよう柵などが施設の周囲に設けられたものです。

近年は、各種法令に違反した行為が行われている、いわゆる「不法ヤード」の存在が全国的に問題となっています。不法ヤードは、盗難車の解体や不正輸出の拠点となるなど犯罪の温床となっている可能性があり、地域の治安を脅かす要因になります。不法ヤードを防止するために、土地を所有する方は土地を貸したり売ったりする際には次のことに注意しましょう。

▶土地賃貸借(売買)契約における注意事項

- ・契約時に相手方の本人確認を確実に行う
- ・契約時に不法ヤードとして使用される恐れがないか、使用目的をよく確認し書面を残す
- ・土地賃貸借契約後は契約者以外の人物や不審な車両が出入りしていないか注視する

▶問い合わせ 建築開発課開発指導担当 ☎550—1551

明るい選挙啓発ポスター入選作品を紹介します

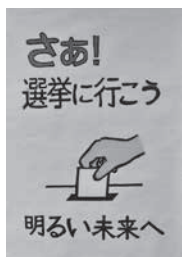
行田市明るい選挙推進協議会と行田市選挙管理委員会が共催する「明るい選挙啓発ポスターコンクール」に、小学生の部81点、中学生の部9点、計90点の応募がありました。審査の結果、小学生の部5点、中学生の部2点、合計7点が入選(金賞)作品として選ばれ、入選した作品は埼玉県の2次審査へ進みました。

このたび、次のとおりポスターの展示を行います。

▶期 間 1月23日(金)～2月4日(水)

▶場 所 「みらい」談話コーナー

小学生の部



西小学校4年 鈴木 莉有さん



東小学校5年 江森 豊治さん



忍小学校6年 栗盛 真弥さん



忍小学校6年 坂本 伊織さん



忍小学校6年 長島 奏大さん

中学生の部



忍中学校1年 脇田 雅さん



忍中学校3年 近藤 心菜さん

▶問い合わせ 選挙管理委員会(内線219)

地域の交通安全を守る交通指導員を募集します

交通指導員は、小学校登校時の児童の交通安全を見守る立哨活動や地域の交通安全のための交通安全教室などを通じた啓発活動などを行っています。

市では、交通事故のない行田に向けて一緒に活動する方を募集しています。安全・安心なまちづくりに取り組んでみませんか。

▶応募資格

- ・20歳以上75歳未満の健康な方
- ・市内の交通安全のため、熱意をもって活動できる方

▶活動内容

- ・児童登校時の立哨指導
- ・交通安全教育の指導
- ・市の行事やイベント時の交通事故防止活動

▶そ の 他

- ・報酬(月額27,000円)などを支給します
- ・制服や装備品を貸与します。

▶問い合わせ 交通政策課交通安全担当(内線283)



「令和7年度市民意識調査アンケート(ウェブ)へのご協力をお願い」

市では、市政運営の総合指針である「基本構想」と、これを補完する「実施計画」に基づき、さまざまな施策を進めています。

このたび、この「実施計画」をはじめ各種計画で設定した「成果指標」の達成状況の把握や、今後の施策の参考とすることを目的としたウェブアンケートを実施します。皆さんのご協力をお願いします。

▶実施期間 1月13日(火)～26日(月)

▶回答できる方 市内在住の方

▶回答方法 二次元コードを読み取り必要事項を入力の上、送信

▶そ の 他

- ・いただいた意見の回答について、個別の対応は行いません。
- ・ウェブによるアンケート回答が困難で書面で回答したい方は企画政策課までご連絡ください。

▶問い合わせ 同課企画政策担当(内線309)



電子申請・
届出サービス

行田市建築物耐震改修促進計画(案) に対する意見を募集します

市では、安全・安心な建築物の整備を促進するため、旧耐震基準(昭和56年5月31日以前の耐震基準)で建築された建築物の地震に対する安全性の向上を促進し、倒壊などによる被害から市民の生命および財産を守ることを目的に、「行田市建築物耐震改修促進計画」の策定を進めています。

このたび、計画案がまとまりましたので、市民の皆さんなどから広く意見を募集します。

▶ **募集期間** 1月5日(月)～2月4日(水)

▶ **閲覧場所** 建築開発課(水道庁舎2階)、市政情報コーナー、南河原支所、市ホームページ

▶ **意見の提出が可能な方**

- (1)市内在住の方
- (2)市内で事業を行っている方または団体など
- (3)市内在勤・在学の方
- (4)市に対して納税義務を有する方または団体など
- (5)当該計画に対して利害関係を有する方または団体など

▶ **提出方法** 前項のうち該当する番号(1)～(5)と、個人の場合は住所、氏名、電話番号を、法人など団体の場合は事務所の所在地、名称、代表者の氏名、電話番号を明記の上(様式自由)、持参、郵送、FAX、Eメール、行田市電子申請・届出サービスのいずれかの方法で提出してください。

【持参・郵送】〒361-0038 行田市前谷1-1 行田市建築開発課 【FAX】553-4544

【Eメール】k-kaihatu@city.gyoda.lg.jp

▶ **その他**

- ・電話や口頭での受け付けは行いません。
- ・個別の回答は行いません。
- ・個人を特定できないように編集し、概要を市ホームページで公表します。
- ・意見に基づいて計画を修正した場合は、その内容を公表します。

▶ **問い合わせ** 同課建築指導担当 ☎ 550-1551



電子申請・届出サービス

行田市公共施設マネジメント計画改訂版(案)に対する意見を募集します

市では、「行田市公共施設等総合管理計画」の下位計画であり、同計画に掲げている各公共施設の再編に向けた具体的な方針を示した「行田市公共施設マネジメント計画」の改訂を進めています。

このたび、改訂版の案がまとまりましたので、市民の皆さんなどから広く意見を募集します。

▶ **募集期間** 1月22日(水)～2月20日(金)

▶ **閲覧場所** 市政情報コーナー、南河原支所、市ホームページ

▶ **意見の提出が可能な方**

- (1)市内在住の方
- (2)市内で事業を行っている方または団体など
- (3)市内在勤・在学の方
- (4)市に対して納税義務を有する方または団体など
- (5)当該計画に対して利害関係を有する方または団体など

▶ **提出方法** 前項のうち該当する番号(1)～(5)と、個人の場合は住所、氏名、電話番号を、法人など団体の場合は事務所の所在地、名称、代表者の氏名、電話番号を明記の上(様式自由)、持参、郵送、FAX、Eメール、行田市電子申請・届出サービスのいずれかの方法で提出してください。

【持参・郵送】〒361-8601 行田市本丸2-5 行田市公共施設再編・まちづくり準備室 【FAX】553-1355 【Eメール】shisetsu-machi@city.gyoda.lg.jp

▶ **その他**

- ・電話や口頭での受け付けは行いません。
- ・個別の回答は行いません。
- ・個人を特定できないよう編集し、概要を市ホームページで公表します。
- ・意見に基づいて計画を修正した場合は、その内容を公表します。

▶ **問い合わせ** 同準備室(内線313)



電子申請・届出サービス

行田市地域福祉推進計画の評価委員会委員を募集します

市では、令和7年3月に策定した「行田市地域福祉推進計画」の進行状況を確認・評価する行田市地域福祉推進計画評価委員会の委員を募集します。

▶ **応募資格** 次の全ての要件を満たす方

- ・市内に在住・在勤・在学しており、応募日現在満18歳以上の方
- ・平日昼間開催の会議に出席できる方
- ・応募日現在、本市の他の附属機関の職にない方
- ・市職員および市議会議員でない方

▶ **募集人数** 2人

▶ **任期** 委嘱した日から2年間

▶ **選考方法** 書類選考の上決定し、結果は全員にお知らせします。

▶ **申し込み** 住所、氏名、年齢、電話番号、職業、勤務先(または学校名)、応募理由(200字程度)を記入した書類(様式自由)を1月30日(金)(必着)までに持参、郵送、FAX、Eメールにより提出してください。【持参・郵送】〒361-8601 行田市本丸2-5 行田市地域共生社会推進課 【FAX】554-6701 【Eメール】chiikikyousei@city.gyoda.lg.jp

▶ **問い合わせ** 同課(内線354)

博学連携展示 「行田市のうつりかわり」



展示風景

郷土博物館では、小学3年生の郷土学習に併せて博学連携展示「行田市のうつりかわり」を開催します。展示では昭和初期からの市内の学校や道路、鉄道の移り変わりを中心に、暮らしの道具や関連する資料、昔の写真などを展示します。変わりゆく行田市の姿をご覧ください。

▶期 間 2月7日(土)～4月5日(日)

▶会期中の休館日

2月23日を除く月曜日、2月12日(休)・24日(休)・27日(金)、3月27日(金)

▶開館時間 午前9時～午後4時30分(入館は午後4時まで)

▶場 所 同館企画展示室

▶入 館 料 【大人】200円 【大学・高校生】100円
【小・中学生】50円※団体割引あり

▶問い合わせ 同館☎554—5911

産業文化会館を臨時休館します

受水槽・高架水槽の清掃に伴う断水のため、産業文化会館を臨時休館します。

▶休 館 日 2月8日(日)

▶問い合わせ 生涯学習課☎556—8319

行田市郷土博物館連続講座 ～資料が語る行田の歴史11～

博物館学芸員が講師となり、日頃の調査研究の成果の中から、選りすぐりのテーマについて紹介します。

回	期日	内容
1	2月 8日(日)	忍藩世嗣 松平忠矩のアーカイブズ ～移動する人と文書の軌跡～
2	2月15日(日)	武家の年中行事～忍藩上級武士の年年歳歳～
3	2月22日(日)	古代埼玉郡の役所を探す
4	3月 1日(日)	忍藩の年貢について

▶時 間 午後2時～3時30分

▶場 所 郷土博物館講座室

▶定 員 各回80人(先着順)

▶受 講 料 無料

▶そ の 他 いずれかのみ参加可

▶申し込み・問い合わせ 電話で同館☎554—5911



『ぎょうだ』の魅力再発見 Oratorical Contest 2025を開催します

文部科学省の採択を受け本市が取り組んでいる「AIの活用による英語教育強化事業」の一環として、子どもたち(西小・泉小・全中学校の児童・生徒)がまちの魅力や未来の行田について英語を使って発表します。ぜひお越しください。

▶日 時 1月28日(水)午前9時30分～11時30分(午前9時10分開場)

▶場 所 産業文化会館ホール

▶入 場 料 無料

▶問い合わせ 教育指導課☎556—8316

▼問い合わせ
9530 環境課 ☎556—

さしあげます

▷学習机 ▷電気ポット ▷コーヒーメーカー ▷こたつ ▷茶箱 ▷ひな壇(3段) ▷将棋セット ▷マッサージチェア ▷ロードバイク

ゆずってください

▷ソファ(二人掛け) ▷エアロバイク ▷自転車▷子ども用自転車 ▷卓上ミシン ▷ドラム缶 ▷ベビーカー(A型) ▷キックバイク ▷じゅうたん ▷ジュニアシート ▷ロックミシン ▷ぶら下がり健康器

市では、資源の有効利用とごみの減量化を図るため、不用品登録制度を実施しています。この制度は紹介制となりますので、紹介後は、本人同士で話し合いの上、無償で品物の受け渡しを行ってください。なお、登録期間は3カ月です。

不用品情報(無料)

男女共同参画意識啓発講座

葛根湯をつくってみよう！

- ▶日 時 1月31日(土)午前10時～正午
▶場 所 VIVAぎょうだ2階学習室
▶内 容 葛根湯の煎じ体験を通して薬の適正使用や活用方法を学び健康管理に役立てる。
▶講 師 西山隆さん(クラシエ株式会社薬品カンパニー職員・薬剤師)
▶対 象 市内在住・在勤・在学の方
▶定 員 24人(先着順)
▶参 加 費 無料
▶持 ち 物 筆記用具
▶そ の 他 ひととき保育の申し込みは1月17日(土)まで
▶申し込み 1月8日(木)午前9時～28日(水)に直接、電話、行田市電子申請・届出サービスのいずれかの方法によりVIVAぎょうだ
▶問い合わせ VIVAぎょうだ ☎556—9301 ※月曜日(祝日の場合は火曜日)は休館



電子申請・届出サービス

男女共同参画意識啓発講座

災害から赤ちゃんを守るための防災入門セミナー

- ▶日 時 2月28日(土)午前10時～11時(予定)
▶場 所 VIVAぎょうだ2階学習室
▶内 容 赤ちゃんがいる家庭で備えていておいた方が良いことや、哺乳瓶が手に入らない場合の授乳方法などを学ぶ。
▶講 師 山森奈美さん(江崎グリコ株式会社職員・管理栄養士)
▶対 象 1歳6カ月までのお子さんとその保護者、妊娠中の方
▶定 員 10組(先着順)
▶参 加 費 無料
▶持 ち 物 筆記用具
▶そ の 他 ・おむつ替えスペース、搾乳室があります。
・アレルギー対応のミルクの用意はありません。
・お子さんと一緒にご参加ください。
▶申し込み 1月23日(金)午前9時～2月20日(金)に直接、電話、行田市電子申請・届出サービスのいずれかの方法によりVIVAぎょうだ
▶問い合わせ VIVAぎょうだ ☎556—9301 ※月曜日(祝日の場合は火曜日)は休館



電子申請・届出サービス

各種相談 (1月15日～2月14日)

相 談	場 所	期 日	時 間	問い合わせ
法律(予約制)	産業文化会館 2階会議室	1月27日(火)	予約は1月5日(月)から	地域活動推進課 (内線252)
		2月12日(水)	予約は1月15日(木)から	
行政機関に対する 意見・要望	産業文化会館 2階会議室	1月19日(月)	午後1時30分～3時30分	
消費生活 多重債務	市役所	毎週月～金曜日(祝日を除く)	午前9時30分～正午 午後1時～3時30分	消費生活センター (内線495)
結婚相談	コミュニティ センターみずしろ	2月8日(日)	午前10時～正午	行田結婚支援センタ ー ☎090—3131— 8356
不動産	庁舎西側車庫上 北会議室	1月21日(水)	午前9時～11時30分	公益社団法人埼玉県宅 地建物取引業協会北埼 支部 ☎562—5900
夫婦関係・DVなど (予約制) ※女性相談員対応	VIVAぎょうだ	毎週木・土曜日 ※土曜日は市内在住の方を対象に電話相談 も受け付けます。	午後1時～4時 (電話相談は午後1時～2時)	VIVAぎょうだ ☎556—9301
人権	産業文化会館 2階会議室	2月4日(水)	午後1時30分～3時30分	人権・男女共同参画 推進課(内線221)
税務(予約制)	関東信越税理 士会行田支部 (市役所前)	毎週水曜日(祝日を除く)※予約受け付け は毎週月・水・金曜日(祝日を除く)の 午前10時30分～午後3時30分	午後1時～4時	関東信越税理士会 行田支部 ☎554—1411
夜間の納付相談	市役所	毎週火曜日(祝日を除く)	午後5時15分～7時	収納課(内線236・237)
水道料金の夜間納付	水道庁舎(前谷)	1月20日(火)、2月3日(火)	午後5時15分～7時	水道課 ☎553—0131

一部の相談についてはメールでの問い合わせもできます。詳しくは市ホームページをご確認ください。



子どもの健康

赤ちゃんクラス(申し込み不要)

日 時 1月16日(金)午前9時30分～11時
内 容 お子さんの体重測定や育児相談
対 象 4カ月未満のお子さんとその保護者

離乳食(初期)教室(要申し込み)

日 時 1月20日(火)午前10時30分～11時30分
(午前10時15分から受け付け)
対 象 4～6カ月のお子さんとその保護者(保護者のみの参加可)

離乳食(後期)教室(要申し込み)

日 時 1月21日(水)午前10時30分～11時30分(午前10時15分から受け付け)
対 象 9～11カ月のお子さんとその保護者(保護者のみの参加可)

乳幼児相談(要申し込み)

日 時 1月26日(月)午前9時30分～11時30分
対 象 就学前のお子さんとその保護者

乳幼児健診など

4カ月児健診は、赤ちゃん訪問時にお知らせします。離乳食(初期)教室、1歳6カ月児健診、2歳児歯科健診、3歳児健診については、対象者に通知します。転入されたお子さんで、前住所地で受診していない方はこども家庭センターにご連絡ください。

問い合わせ 同センター ☎ 579-8033

おとなの健康

健康相談(要申し込み)

日 時 1月26日(月)
※時間は申し込みの際にお知らせします。
場 所 産業文化会館2階2A会議室
内 容 保健師、管理栄養士、歯科衛生士による食事、生活習慣、口の健康などについての相談

問い合わせ 健康課(内線361～364)

在宅医療窓口

「病気があるが、足が不自由で通院できない」「寝たきりの家族がいて床ずれが心配」などの相談があるとき

・行田市在宅医療・介護連携支援センター

☎ 553-2003

・相談時間 午前9時～午後5時

※土・日曜日、祝日、年末年始を除く

「歯科医院への通院が困難」「訪問歯科診療を行っている歯科医院が知りたい」などの相談があるとき

・在宅歯科医療推進窓口 ☎ 080-1391-8020

・相談時間 午前10時～午後3時(正午～午後1時を除く) ※土・日曜日、祝日、年末年始を除く

みんなの保健室

子どもの健康についての問い合わせ
こども家庭センター(保健センター内)
長野2-3-17 TEL: 579-8033

おとなの健康についての問い合わせ
健康課(市役所4番窓口)
本丸2-5 TEL: 556-1111
(内線361～364)

休日急患診療

休日や祝日の急な病気やけがのときは次の医療機関をご利用ください。

期 日	医療機関名	電話番号
1月18日(日)	清幸会行田中央総合病院	553-2000
1月25日(日)	壮幸会行田総合病院	552-1111
2月1日(日)	清幸会行田中央総合病院	553-2000
2月8日(日)	壮幸会行田総合病院	552-1111
2月11日(水)	清幸会行田中央総合病院	553-2000

診療時間 午前10時～午後5時

診療科目 内科、小児科、外科

※医療機関が変更されることがありますので、事前に問い合わせてください。

親子の歯科健診・ママパパ歯科健診

日 時 1月29日(木)午前9時～10時45分(15分ごとの予約制)

場 所 保健センター

内 容 歯科健診、位相差顕微鏡による口腔内細菌の確認(希望者のみ)

対 象 市内在住で次のいずれかに当てはまる方
・就学前のお子さんとその保護者(健診はお子さんのみ、保護者のみでも可)
・妊婦とそのご家族

※健診は同一年内1回の受診となります。

定 員 30人(先着順)

費 用 無料

持 ち 物 乳幼児と妊婦は母子健康手帳

申し込み 1月23日(金)までに直接または電話でこども家庭センター

問い合わせ 同センター ☎ 579-8033

〈健康づくりチャレンジポイント認定講座〉

困っていませんか？咳のお話 ～呼吸器の専門医が解説～

咳は体を守る大切な反応ですが、長引くと日常生活に影響し、病気のサインとなることがあります。専門医が咳のしくみや原因、予防方法などを分かりやすく解説します。

日時 2月5日(木)午後2時～3時30分(午後1時30分から受付開始)
場所 商工センター 401 研修室
対象 市内在住の方
定員 50人(先着順)
持ち物 筆記用具、水分補給できるもの
申し込み 行田市電子申請・届出サービス、直接、電話のいずれかの方法で健康課
問い合わせ 同課保健事業担当(内線361～364)



電子申請・届出サービス

〈健康づくりチャレンジポイント認定講座〉

理学療法士に学ぶ！姿勢改善教室

正しい姿勢づくりを通して、肩こりや腰痛などの不調を予防し、日常生活の動作をより快適にすることを目指す教室です。理学療法士の専門的な指導を受け、姿勢の改善と健康意識を向上させましょう。

日時 1月19日(月)午前10時～11時15分(午前9時45分から受付開始)
場所 産業文化会館2階2AB会議室
対象 市内在住の方
定員 30人(先着順)
持ち物 筆記用具、水分補給できるもの
申し込み 行田市電子申請・届出サービス、直接、電話のいずれかの方法で健康課
問い合わせ 同課保健事業担当(内線361～364)



電子申請・届出サービス

带状疱疹ワクチン(定期予防接種) の接種は3月31日までです

定期予防接種で带状疱疹を接種できるのは、令和8年3月31日(火)までです。組換えワクチンを打つ場合は2カ月の間隔を空ける必要があるため、1月末までに1回目を接種しましょう。

対象 今年度対象年齢となっている方は次の方です。

65歳	昭和35年4月2日～昭和36年4月1日生まれの方
70歳	昭和30年4月2日～昭和31年4月1日生まれの方
75歳	昭和25年4月2日～昭和26年4月1日生まれの方
80歳	昭和20年4月2日～昭和21年4月1日生まれの方
85歳	昭和15年4月2日～昭和16年4月1日生まれの方
90歳	昭和10年4月2日～昭和11年4月1日生まれの方
95歳	昭和5年4月2日～昭和6年4月1日生まれの方
100歳以上	大正15年4月1日以前に生まれた方

その他 ワクチンの種類や接種できる医療機関の他、50歳以上の方(定期接種対象者を除く)を対象に行っている任意接種費用の助成については市ホームページをご確認ください。

問い合わせ 健康課保健事業担当
(内線361～364)



市ホームページ

暮らしとこころの総合相談会 inぎょうだ

日時 2月9日(月)午後1時～5時
場所 商工センターホール
内容 弁護士・司法書士、社会福祉士、精神保健福祉士などが、失業・借金・離婚・相続などの生活問題やパワハラ・不眠・こころの悩みなどの相談を受けます。
対象 県内在住・在勤の方
参加費 無料
共催 埼玉県、行田市
申し込み 1月13日(火)から電話で「暮らしとこころの総合相談会」事務局「夜明けの会」☎048-774-2862(月～金曜日午前10時～午後5時)
問い合わせ 健康課保健事業担当(内線362)



#7119 (365日24時間対応)

病院に連れて行こうか迷ったときや受診できる医療機関を知りたいときの全国共通ダイヤルです。また、埼玉県では、「埼玉県AI救急相談」を実施しています。
<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0703/aikyukyu.html>

来て! 見て!

図書館

と し ょ かん

開館時間

午前9時～午後7時

休館日

1月1日(木)～3日(土)・5日(月)・
13日(火)・19日(月)・26日(月)、
2月2日(月)・3日(火)・9日(月)

※休館日の図書の返却はブックポストをご利用ください。
(年末年始を除く)

●図書館●

佐間3-24-7(「みらい」内)

TEL:556-4227

FAX:555-3770



令和8年 ブックスタート

- ▶日 時 第1、4水曜日午前10時～正午
- ▶場 所 図書館ミーティングルーム
- ▶内 容 絵本を1冊プレゼントします。
- ▶対 象 生後2カ月以上1歳未満のお子さんとその保護者
- ▶持 ち 物 母子手帳
- ▶そ の 他 絵本の読み聞かせの後に育児相談を行います。

図書館の本は地域公民館でも「受取」と「返却」ができます

市立図書館で所蔵している貸し出し可能な図書・雑誌は地域公民館でも受け取りと返却が可能です。※紙芝居、CD、DVD、カセットテープ、他の図書館の本は対象外です。

また、大きいサイズの図書はお断りする場合があります。

詳しくは図書館ホームページをご確認ください。

新しいブックリストを作成しました

図書館では新しいブックリストを作成しました。赤ちゃん用から中・高校生向けまでの7種類のブックリストを用意し、配布しています。ぜひご利用ください。

▶配布場所 図書館(図書館ホームページからダウンロード可)

ぎょうだ電子図書館が4周年を迎えました

ぎょうだ電子図書館は自宅や外出先から、お手持ちのパソコンやタブレット、スマートフォンを使って電子書籍を楽しめる、インターネット上の図書館です。文字の拡大や音声読み上げ機能の他、期間限定のコンテンツもありますので、ぜひご利用ください。

利用するには、IDとパスワードが必要です。行田市立図書館利用カードをお持ちの市内在住・在勤・在学の方は、利用カードの番号がID、生年月日8桁がパスワードになっています。



行田歴史系 382

資料がかたる行田の歴史

82

古代の南河原

現在、旧南河原村域には26の遺跡が埋蔵文化財包蔵地として登録されており、これまでに5回の発掘調査が行われています。その成果を基に、今回は発掘調査で分かった古代の南河原を紹介します。

古代の南河原は、縄文時代晩期(3000～2400年前)から始まります。縄文時代晩期の土器が少量のみ発見されているだけで、確実に人々が暮らし始めたと言いきれませんが、おそらく南河原の地で活動していたであろうと推測できます。

次は時代が下って、古墳時代前期(1700～1600年前)において、人々の活動の痕跡が残されています。ただ縄文時代と同じく、住居跡などの痕跡は確認できていません。

が、当期の土師器が出土しています。その中には東海地方で生み出された土器があり、南河原の外から人々が、最先端の農



平成22年度南河原条里遺跡発掘調査風景

業技術とともにその土器を携えて、肥沃な低地へと進出してきたと思われます。

そして、古墳時代中期(1600～1500年前)の終わり頃、突如として、とやま古墳が出現します。とやま古墳は墳丘長69メートルの前方後円墳で、埼玉古墳群の稲荷山古墳と相前後する時期に築造され、市内で最も古く造られた古墳のひとつです。当時南河原周辺では、これほどまでに大きい古墳を築造できる首長が統治しており、首長を支えるムラがどこかにあった可能性が高いと考えられます。

その後、平安時代(1200～800年前)になると、条里制に伴う水田が作られました。ほ場整備前には、水田区画の痕跡が馬見塚を中心に、南河原字前から犬塚字南・米九斗まで広範囲にわたって確認できました。条里水田周辺に住んでいた人々は、お米を作り租税として納めていました。

南河原における先人の足跡は、今はまだ断片的な資料でしか語ることができませんが、地中深くに眠っている遺跡から新たな発見があれば、古代の南河原をより鮮明に物語ってくれることになるでしょう。

(郷土博物館 篠田泰輔)



ものづくりの魅力を伝える

石川 尊央さん（本丸・28歳）

令和7年7月に元足袋販売店の牧野本店でオープンした『日々新た』。このお店は、もんぺや靴下、木製の食器など伝統的な手工芸品が並び、新しいものとの出会いやものを通じた新しい発見をコンセプトにしたセレクトショップです。今月はこのお店の店主・石川尊央さんを紹介します。

石川さんは市内出身で体育の教員になることを目指して大学へ進学。卒業後は国外でさまざまな経験を積みたという思いから令和元年にJICA海外協力隊に入り、ヨルダンでパレスチナ難民の子どもたちに体育を教えていました。しかし、世界的な新型コロナウイルス感染

症の拡大に伴い、8カ月で帰国となりました。

その後、酪農の手伝いや移住体験などをする中、山口県下関市で硯（すずり）を作る職人と出会います。作り手が語る歴史や情熱、そしてなによりその技術を目の当たりにしたことがきっかけでものづくりへの興味が膨らんでいきました。

「ものづくりを伝える拠点を作りたい」と高まる思いの中で開業を決意。その準備として魅力の伝え方や販売方法を学ぼうと、作り手と使い手をつなぐ活動をする福岡県八女市の会社に入社し4年間を過ごしました。

「生まれ育った行田でお店を」と思い続けていた石川さんはいよいよ行田の伝統産業である足袋屋「牧野本店」と出会い、昨年7月に『日々新た』をオープンしました。ここは「お店で知った小さな何かが新しい何かに繋がったら面白いなと想像しながらいろんな場所のいろんなものを集めているお店」と語る石川さん。足袋屋の面影残る太い柱が印象的な店内には、石川さんが日本各地の作り手と直接話をし、これだと感じた選りすぐりの逸品が並びます。「ここが皆さんの新たな発見や、ものを通じた交流の場になったらうれしい」と笑顔で話します。

温かく丁寧な、愛情を込めてつくられた商品たち。そして石川さんのこだわりや経験の結晶として開店した『日々新た』。石川さんはこれから素材や製法、背景にある物語などの「ものづくりの魅力」を歴史ある行田市から発信していくつもりです。

俳行壇田

俳句応募方法

一人3句以内。住所・氏名（ふりがな）・電話番号を明記の上、はがきまたは封書で広報広聴課まで。※毎月末日必着
なお、一部添削して掲載する場合がありますが、不要であれば「添削不要」と記載してください。

母とゐるただそれだけの小春かな

緑町 松林 真弓

【句評】人生を達成しているような穏やかな一句である。俳句づくりのポイントは一句の中に季語が生かされているかという点にある。掲句は季語の小春が絶妙な働きをして一句を形成している。小春日和のほっこりとした充足感が母に寄り添ふ作者の心情を代弁しているのである。平明な詠嘆ではあるが、さり気なき情感の滲む一句となっている。

鐘ひとつ撞くための列去年今年

荒木 小林 康男

【句評】大晦日の夜鐘楼のある寺には近接の人々が集い列をなす。百八の除夜の鐘を打つためである。一人が一打ずつ撞くために長い行列をつくり順番を待っている。しかし、人々は神仏と人間が一つになる瞬間でもある。去年今年の季語が厳かな雰囲気を感じさせている。

人里の馳走もとめて熊闊歩

渡柳 大西 道子

【句評】秋以後、今年ほど熊の出沒のニュースで賑わった年はないだろう。人々の生活が脅かされる深刻な社会問題となっているのである。こうした背景の句で注意しなければならぬのは殺すとか駆除とかの直接表現は避けることである。その点、掲句は熊闊歩とどめていて遭遇の恐怖と注意を喚起するようにつくりとなっている。境界破りは共に不幸である。

秋あかね竹のそよぎや風白し

忍 大澤 由子

夜祭りの鉦鼓とどろく秩父郷

谷郷 羽石 芳道

小春日や「ただいま」と妻退院す

富士見町 江利川敏夫

わさわさと音ごと掃けり柿落葉

棚田町 川鍋 幽覚

貼り足しの切手一枚年詰まる

門井町 宮田 淑尚

先達の奇北巡りし利根の秋

棚田町 奈良佐智子

白杖の足取りしかと冬の駅

長野 鎌田 昇

（三次一水選評）





11/16
SUN

図書館まつり

「みらい」で「第10回 図書館まつり」が開催されました。当日は折り紙でクリスマスリースを折る「おりがみのへや」や英語で歌遊びなどをする「英語であそぼうin図書館まつり」、「大人のための朗読会」などが行われた他、キッチンカーも出店。

図書館内を巡る「図書館ぐるっと探検」では、ブックポストの中を見たり、普段入ることのできない書庫に入ったりと、参加者らは普段見ることのできない図書館の裏側に興味津々な様子でした。



11/15
SAT

障がい者(児)スポーツレクリエーション大会

行田グリーンアリーナで「第27回行田市障がい者(児)スポーツレクリエーション大会」が開催されました。

当日は卓球バレー、ボッチャ、フライングディスクなど6種目の競技が行われました。

風船バレーでは、長いラリーの後に点を取った瞬間にはチームのみんなで喜び合うなど白熱した試合を繰り広げていました。



11/16
SUN

ゆざわひろゆきの絵本作家プチ体験講座

図書館まつりの一環として、市内在住の絵本作家ゆざわひろゆきさんを講師に、絵本作家プチ体験講座が「みらい」で開催されました。

講座には小学生から大人まで幅広い世代の方が参加。ゆざわさんから絵本を描く際のコツやポイントのレクチャーを受けた参加者らは、持参した色鉛筆を使い思い思いの色で絵を描き上げました。出来上がった絵が製本され、図書館に配架されると聞いた参加者らは、驚きとともに、絵本作家が感じる喜びを体感していました。



12

6

SAT

西の市

愛宕神社(行田)周辺で年の瀬を感じさせる「行田西の市」が開催されました。

この祭りは毎年同じ日に行われ、県道128号沿いでは書道パフォーマンスや吹奏楽演奏などのステージイベントの他、屋台が立ち並び、多くの人が訪れました。神社境内では、家内安全や商売繁盛を願って縁起物の熊手を買い求める人や参拝者で賑わっていました。



11

23

SUN

行田市・南河原村合併20周年記念
第77回行田市文化祭

産業文化会館で埼玉県芸術文化祭 2025 地域文化事業として行田市文化祭ステージ発表会が行われました。

行田市合唱連盟や行田演奏家連盟などによる合唱や演奏の他、合併20周年記念特別プログラムとして在家ささら保存会による獅子舞演舞が披露されました。

行田市民吹奏楽団と行田うきしろ吹奏楽団の合同で行われた演奏では、曲に合わせた仮装や振り付けで会場を大いに盛り上げました。



11

30

SUN

イルミネーション点灯式

古代蓮の里で「古代蓮の里イルミネーション2025点灯式&わらアートお披露目式」が開催されました。

多くの来場者とキッチンカーで賑わう中、カウントダウンの大きな声と共に古代蓮会館前や世界の蓮園を中心に約10万球の明かりが灯されました。ライトアップ後には行田音楽家協会の中川越百さんによる歌のライブパフォーマンスも行われ、来場者らはその美しい歌声とイルミネーションとの饗宴を楽しんでいました。



11

24

MON

ものづくり大学
市民特別公開講座

ものづくり大学で「ものづくり大学 市民特別公開講座」が開催されました。

この講座では、同大学教養教育センター教授の井坂康志さんによる埼玉県の魅力を伝える講演や、井坂さんと行田市観光魅力発信SNSアンバサダーのさいぼんさんとのクロストークが行われました。クロストークではさいぼんさんが行田市に縁のある人たちをインタビューした動画を上映し、井坂さんとともに埼玉県や行田市の魅力について語ってくれました。





浮城シニアクラブ連合会 いきいき芸能発表大会

- ▶日時 2月4日(水)午後1時～4時
- ▶場所 「みらい」文化ホール
- ▶内容 浮城シニアクラブ連合会会員による舞踊、カラオケ、民謡などさまざまな芸能の披露
- ▶主催 浮城シニアクラブ連合会
- ▶問い合わせ 同会事務局(高齢者福祉課内・内線225)

豆まき会

- ▶日時 1月24日(土)午前10時30分～正午
- ▶場所 児童センター
- ▶内容 鬼のお面を作って豆まきをする。
- ▶対象 幼児から小学生(未就学児は保護者同伴のこと)
- ▶定員 20人(先着順)
- ▶持ち物 はさみ、のり、サインペン
- ▶主催 児童センター
- ▶申・問 1月17日(土)までに二次元コードを読み取り必要事項を入力の上、送信するか直接または電話で同センター ☎ 554-5706



第四回 忍小学校吹奏楽部演奏会

- ▶日時 2月7日(土) 午後1時開演
- ▶場所 産業文化会館大ホール
- ▶曲目 「凧と咲く華たち(全日本小学生バンドフェスティバル出場曲)」、「ひまわり」他
- ▶主催 忍小学校
- ▶後援 行田市教育委員会、吹奏楽部保護者会
- ▶その他 忍小学校低学年児童も出演
- ▶問 同校 ☎ 554-5551

親子国際交流イベント 「マレーシアを知ろう!」

- ▶日時 2月7日(土)午前9時30分～正午
- ▶場所 VIVAぎょうだ学習室
- ▶内容 伝統ゲームや民族衣装の試着を楽しみながらマレーシアの文化や暮らしに触れることができる国際交流イベント
- ▶講師 マシータ ユノスさん
- ▶対象 市内の小・中学生とその保護者
- ▶定員 親子10組(先着順)
- ▶持ち物 筆記用具
- ▶協力 行田にほんご教室
- ▶申・問 1月14日(水)から二次元コードを読み取り必要事項を入力の上、送信するか、直接または電話で地域活動推進課(内線251)



子育て談話室「たんぽぽ」 (預り保育つき)

- ▶日時 2月2日(月)午前9時50分～11時30分
- ▶場所 総合福祉会館「やすらぎの里」
- ▶内容 お子さんを預けている間にママ同士でおしゃべりをする
- ▶対象 市内在住で乳幼児を持つ保護者
- ▶定員 親子30組(親のみの参加可)
- ▶参加費 1組100円(保険料含む)
- ▶主催 行田市民生委員・児童委員連合会
- ▶共催 行田市、行田市教育委員会、行田市社会福祉協議会
- ▶申・問 1月2日(金)～30日(金)に二次元コードを読み取り必要事項を入力の上、送信するか電話で同協議会 ☎ 557-5400



イベント

第16回 行田市少年少女囲碁大会

- ▶日時 2月7日(土)午前9時～午後4時30分
- ▶場所 中央公民館
- ▶内容
 - ・19路盤戦(20級以上対象)
 - (1)浮き城のまち選手権(ノーハンデ戦)
 - (2)ハンデ戦(棋力認定を兼ねる)
 - ・13路盤戦(21級以下対象)
 - ・プロ棋士(林子淵八段、陳柏劭初段)による指導碁
 - ・親子入門教室
- ▶対象 中学生以下(親子入門教室は保護者も可) ※小学生以下は原則として保護者同伴のこと
- ▶参加費 500円 ※市内在住、親子入門教室のみの参加は無料
- ▶持ち物 昼食
- ▶主催 行田市教育委員会、行田市碁楽会
- ▶後援 (公財)日本棋院、特定非営利活動法人埼玉県少年少女囲碁協会
- ▶申
 - ＜持参またはFAXの場合＞
 - 市ホームページからダウンロードした申請書に必要事項を記入の上、1月23日(金)までに同館【FAX】553-5760 ※団体の場合は申請書に必要事項を入力の上、chuo@city.gyoda.lg.jpへ送信
 - ＜電子メールの場合＞
 - 二次元コードを読み取り必要事項を入力の上、送信
- ▶問 同館 ☎ 556-2649



広告

行田グルメ

ゼリーフライ作り体験をしよう!!

- ▶日時 2月1日(日)①午前10時～午後1時②午後1時30分～16時30分
- ▶場所 忍・行田公民館
- ▶内容 ゼリーフライを作り実食する(持ち帰り可)。
- ▶対象 中学生以上※小学生以下は保護者同伴であれば可
- ▶定員 各部30人※応募者数により①のみ開催
- ▶参加費 大人1,200円、高校生1,000円、中学生900円、小学生700円
- ▶持ち物 飲み物
- ▶主催 行田フライ・ゼリーフライ友の会
- ▶後援 行田市、行田市教育委員会
- ▶その他 中学生の申し込みは保護者が行ってください。
- ▶申・問 1月31日(土)までにEメールまたは電話で同会金子☎080—5990—3320【Eメール】sakaba.zambini@gmail.com

かるた 歌留多と塗り絵展

- ▶日時 1月7日(水)～2月26日(木)午前9時～午後3時※土・日曜日、祝日を除く
- ▶場所 武蔵野銀行行田支店ロビー(行田4—5)
- ▶内容 昭和レトロな歌留多や塗り絵などの展示会
- ▶問 栗原☎090—1535—4460

お買物袋いろいろ展

- ▶日時 1月7日(水)～2月26日(木)午前9時～午後4時※土・日曜日、祝日を除く
- ▶場所 JR行田駅前郵便局ロビー(荻里山町13—2)
- ▶内容 懐かしの百貨店の買物袋や販促用袋などの展示会
- ▶問 栗原☎090—1535—4460

第41回

行田市合唱祭

- ▶日時 1月18日(日)午後1時開演(午後0時20分開場)
- ▶場所 産業文化会館大ホール
- ▶内容 行田市合唱連盟加盟団体による合唱発表
- ▶主催 行田市合唱連盟加盟団体
- ▶共催 (公財)行田市産業・文化・スポーツいきいき財団
- ▶後援 行田市、行田市教育委員会、行田市文化団体連合会
- ▶問 大澤☎554—4588

鉄剣マラソンを 楽しく完走するための練習会

- ▶日時 2月7日～3月28日の毎週土曜日(全8回)午前9時～10時(予定)※都合の良い日のみの参加可
- ▶場所 さきたま古墳公園およびさきたま緑道
- ▶内容 鉄剣マラソンに向けてアロバイスを受けながら一緒に走る。(鉄剣マラソン大会に申し込んでいない方も参加可)
- ▶申・問 2月1日(日)までに電話またはEメールで行田走友会堀口☎090—7422—5618【Eメール】gyoda_run@yahoo.co.jp※期間中も随時募集

行田市民大学同窓会 「みんなの文化祭」

- ▶日時 2月21日(土)正午～午後4時、22日(日)午前10時～午後3時
- ▶場所 コミュニティーセンターみずしろギャラリー
- ▶内容 同窓会員による絵画、写真、切り絵、陶芸などの作品展示
- ▶その他 同窓会員の家族や在校生、一般の方からの作品を募集しています。
- ▶問 行田市民大学同窓会茂木☎090—2549—8517

婚活パーティー

レトロ喫茶で逢いましょう

- ▶日時 2月14日(土)午後6時から(女性は午後5時30分に集合)
- ▶場所 ヴェールカフェ
- ▶対象 独身の30歳～45歳の方
- ▶定員 男女各8人
- ▶参加費 男性4,500円、女性2,000円(飲み物・軽食付き)
- ▶持ち物 事前に郵送するプロフィールカード
- ▶主催 行田おもてなし観光局
- ▶共催 行田結婚支援センター、行田市教育委員会
- ▶申 二次元コードを読み取り必要事項を入力の上、送信
- ▶問 ヴェールカフェ☎556—4330※火曜日を除く



ボーイスカウトとあそぼう! わくわく体験あそび

- ▶日時 2月8日(日)午後1時30分から(午後1時から受け付け)※雨天決行、荒天中止
- ▶場所 忍・行田公民館
- ▶内容 ロープやコンパスを使ったゲームなどを行う。
- ▶対象 市内在住の小学1～3年生
- ▶定員 20人(先着順)
- ▶持ち物 防寒着、筆記用具、軍手、雨具、水筒
- ▶主催 日本ボーイスカウト埼玉県連盟行田第1団
- ▶後援 文部科学省、行田市教育委員会
- ▶申 1月19日(月)午前8時から二次元コードを読み取り必要事項を入力の上、送信
- ▶問 同連盟高野☎524—8223【Eメール】BS.Gyoda1@gmail.com



広告



認知症サポーター ステップアップ講座

- ▶日時 1月15日(木)午後1時30分～3時
▶場所 VIVAぎょうだ学習室
▶内容 認知症の方への見守りができるよう、基礎知識の振り返りや認知症の方への接し方を体験する。
▶対象 市内在住・在勤・在学の方で認知症サポーター養成講座を受講した方
▶定員 20人(先着順)
▶持ち物 筆記用具
▶申 1月9日(金)までに二次元コードを読み取り必要事項を入力の上送信するか、電話で地域包括支援センター緑風苑(須加1563)☎557-3611(月～金曜日)
▶問 高齢者福祉課地域包括ケア担当(内線338)



認知症サポーター養成講座・ 認知症相談会

- ▶期日 2月13日(金)
▶時間 ①【認知症サポーター養成講座】午後1時30分～3時②【認知症相談会】午後3時～4時
▶場所 VIVAぎょうだ学習室
▶内容 ①認知症の基本的な知識、適切な対応方法などを学ぶ。②専門家が認知症や介護の悩みについての相談に応じる。
▶対象 市内在住・在勤・在学の方
▶定員 ①45人(先着順)
▶持ち物 筆記用具
▶その他 ②のみの参加可。養成講座受講終了後にオレンジリングと埼玉県認知症サポーター証を配布
▶申 2月9日(月)までに電話で地域包括支援センター緑風苑(須加1563)☎557-3611(月～金曜日)
▶問 高齢者福祉課地域包括ケア担当(内線338)

ごみ問題を考えるつどい

- ▶日時 2月1日(日)午後1時30分～3時30分
▶場所 「みらい」文化ホール
▶演題 「食品ロスを減らそう」
▶講師 埼玉県資源循環推進課職員
▶定員 500人(先着順)
▶主催 行田市衛生協力会連合会
▶問 環境課☎556-9530

令和7年度行田市人権教育合同 学習講演会『バックンマクンと 考える これからの多文化共生』

- ▶日時 2月14日(土)午後1時30分～3時20分(午後1時開場)
▶場所 「みらい」文化ホール
▶演題 バックンマクンと考えるこれからの多文化共生
▶講師 バックンマクン(タレント)
▶対象 市内在住・在勤の方
▶定員 500人(入場整理券が必要)
▶主催 行田市教育委員会、行田市人権教育推進協議会、行田市PTA連合会、北埼玉地区人権教育推進協議会
▶その他
・手話通訳を行います。
・市内の小・中学生が描いた人権ポスターを展示します。
・講演の録音や動画撮影などはお遠慮ください。
・ひととき保育(2歳以上の未就学児が対象、無料)を希望する方は1月30日(金)までに申し込みしてください。

- ▶申 1月15日(木)～2月13日(金)に生涯学習課で入場整理券(一人2枚まで)を配布※なくなり次第終了。当日の配布はありません。

- ▶問 同課人権教育推進担当☎556-8319



東和銀行行田支店新生会 新春講演会

～明るく、元気に、一生懸命～

- ▶日時 2月10日(火)午後5時45分～7時30分(午後5時から受け付け)
▶場所 「みらい」文化ホール
▶講師 林家正蔵さん
▶定員 500人(先着順)
▶申・問 2月3日(火)までに直接、東和銀行行田支店(門井町1-25-29)松岡☎553-2151【FAX】555-1171

節分祭 豆まき

- ▶日時 2月3日(火)【1回目】午後2時30分【2回目】午後4時
▶場所 行田八幡神社(行田16-23)
▶内容 豆まき、若葉保育園園児による和太鼓演奏、潮崎ひろののコンサート、忍城おもてなし甲冑隊による演舞などを実施
▶主催 忍城下節分祭豆まき実行委員会
▶その他 福豆をまく方を募集(参加費5,000円)
▶問 同神社社務所☎554-5926

講座・講習・体験

上級救命講習

- ▶日時 2月22日(日)午前8時45分～午後5時30分
▶場所 行田市消防本部第3会議室
▶内容 心肺蘇生法(成人・小児・乳児)、異物除去法、AEDの取り扱い方法、傷病者管理法、外傷の手当て要領などを取り入れた上級救命講習(8時間)
▶対象 市内在住・在勤・在学の方
▶定員 20人(先着順)
▶持ち物 筆記用具、飲み物、昼食
▶申・問 1月18日(日)午前10時から電話で消防署本署☎550-2123

広告

女性のための マネーセミナー

- ▶日時 1月24日(土)・25日(日)午前10時～午前11時30分、午後2時～3時30分
▶場所 コミュニティーセンターみずしろ 205 会議室
▶内容 ゼロから学ぶお金の基本講座
▶定員 各回 10 人(先着順)
▶主催 マネーリパティ
▶申・問 二次元コードを読み取り必要事項を入力の上、送信するか電話でマネーリパティ高橋 ☎080—3758—5707



相談

ネットビジネス相談会

- ▶日時 1月18日(日)午前9時30分～11時30分
▶場所 VIVAぎょうだ
▶内容 ホームページの作成およびネットショップの開設などの個別相談会
▶対象 市内在住の方もしくは小規模事業者
▶定員 4 人(応募者多数の場合は抽選)
▶主催 タノサンネット
▶申 1月15日(木)までに二次元コードを読み取り必要事項を入力の上、送信
▶問 タノサンネット ☎070—5347—1948



行政書士無料相談会

- ▶日時 1月28日・2月25日・3月25日の水曜日いずれも午後1時15分～4時30分
▶場所 商工センター 404 研修室
▶相談内容 埼玉県行政書士会の行政書士が、創業・事業運営・相続・契約書などの相談に応じる。
※要予約
▶申・問 同会理事小林 ☎507—3010

なぜ、こんなに暑いのか？ どう暮らすかを知ろう！

- ▶日時 1月25日(日)午後1時30分～3時30分
▶場所 埼玉県環境科学国際センター研修室(加須市上種足914)
▶内容 気候変動によって変化する地球環境を予測する方法を学び、新しい生活の仕方を考える。
▶講師 河野なつ美さん(同センター主任研究員)
▶対象 中学生以上※小学生以下の方は保護者同伴であれば可
▶定員 30 人(先着順)
▶持ち物 筆記用具
▶主催 行田環境市民フォーラム
▶後援 行田市、行田市教育委員会
▶その他 申し込み時に①か②を選択
・①午後1時に現地集合し現地解散
・②送迎(中央公民館駐車場に午後0時30分に集合し午後4時に解散)
▶申・問 二次元コードを読み取り必要事項を入力の上、送信するか電話で中村 ☎090—1778—4062



女性のための はじめてのマネーセミナー

- ▶日時 1月17日(土)午前10時30分～午後0時15分
▶場所 商工センター 403 研修室
▶内容 ファイナンシャルプランナーが今の時代に知っておきたい「お金の基本」について詳しく解説する。
▶定員 20 人(先着順)
▶持ち物 筆記用具
▶主催 ライフウィズ
▶申・問 1月16日(金)までに二次元コードを読み取り必要事項を入力の上、送信するか電話でライフウィズ ☎048—606—4787(午前10時～午後5時)



行田創業塾

- ▶日時 2月4日(水)・9日(月)・16日(月)・25日(水)、3月4日(水)午後6時30分～8時30分
▶場所 商工センター 404 研修室
▶内容 創業について悩みや課題を乗り越えるための考え方やノウハウなどを学ぶ。
▶講師 高島稔さん(中小企業診断士)他
▶定員 15 人(先着順)
▶参加費 6,000 円(教材費含む)
▶後援 行田市
▶申 2月2日(月)までに二次元コードを読み取り必要事項を入力の上、送信
▶問 行田商工会議所創業担当 ☎556—4111



公開講座「新しい時代のコミュニケーション術」～スポーツジャーナリストの相手心理の見抜き方～

- ▶日時 3月2日(月)午後2時～3時30分
▶場所 商工センターホール
▶講師 瀬戸口仁さん(スポーツジャーナリスト)
▶定員 120 人(先着順)
▶主催 公益社団法人行田法人会
▶申 二次元コードを読み取り必要事項を入力の上、送信するか商工センターおよび産業文化会館に置いてあるチラシ(ホームページからダウンロード可)に必要事項を入力の上、FAXで送信【FAX】554—6969
▶問 同法人会 ☎554—4535



広告

はじめまして

令和7年1月生まれのおともだち

令和7年3月生まれのお子さんを募集します

1月5日月～30日金に電話またはEメールで広報広聴課(内線322)

- 応募要領は市ホームページをご確認ください。
- 応募者多数の場合は、2月2日(月)午前11時から市役所203会議室で公開抽選を行います。



元気が一番!
笑顔が一番!



菅井 真人翔
ちゃん(持田)

令和7年1月28日生まれ
父・正聡さん 母・みゆさん

姉兄に負けずに
遅く育ってね!



野辺地 緒
ちゃん(桜町)

令和7年1月14日生まれ
父・佑二さん 母・美海さん

産まれてきてくれて
ありがとう♡



福島 碧斗
ちゃん(長野)

令和7年1月14日生まれ
父・将太さん 母・佳乃さん

可愛い笑顔をありがとう♡
優しい子になってね



林 美桜
ちゃん(佐間)

令和7年1月12日生まれ
父・駿一さん 母・美貴さん

すくすく元気に育ってね!



春原 瑛風
ちゃん(門井町)

令和7年1月8日生まれ
父・智哉さん 母・咲さん

明るく元気に育ってね!
ニコニコ笑楠ちゃん大好き!



大野 笑楠
ちゃん(埼玉)

令和7年1月11日生まれ
父・魁聖さん 母・優希さん

ずーっとずっと
だいすきだよ



荻野 倫太郎
ちゃん(谷郷)

令和7年1月29日生まれ
父・康太郎さん 母・美穂さん

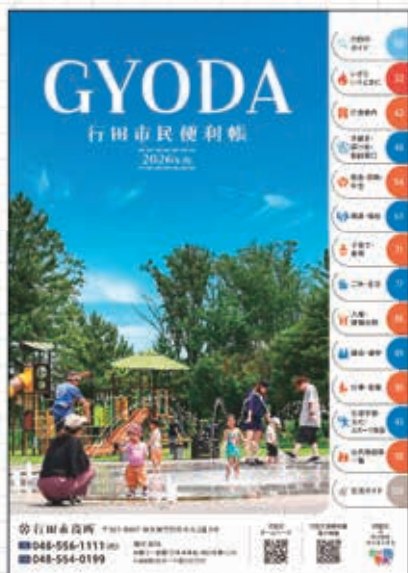
たくさんのご応募
お待ちしております



行田市長
行田 邦子

行田市民便利帳2026版が完成します

3年ぶりに
改訂



市では、市政情報や暮らしの情報などを分かりやすくまとめた「行田市民便利帳2026」を株式会社サイネックスとの官民協働事業で作成しています。

今回の改訂では、災害時の行動や事前の備えなどの他、子育てや交通手段など行田の暮らしに密着した最新情報、まち歩き情報などを巻頭にまとめ、充実させました。お手元に置いていただき、身近な生活情報誌としてご活用ください。



2月中に各世帯に配布します

株式会社サイネックス・ネットワークにより全戸配布します。3月になっても届かない場合は、広報広聴課までご連絡ください。

作成に当たり、広告掲載でご協力いただいた事業者の皆さんに厚くお礼申し上げます。

▶問い合わせ 同課(内線318)

今月の表紙

今年の干支は「午^{うま}」。市内の酒巻14号墳で出土した国指定重要文化財、日本で唯一の「旗を立てた馬形埴輪」で新年をお祝しました。

この旗が発見されたことで、旗を差すソケット部分の使用方法が実証されたとても貴重な埴輪です。郷土博物館で常設展示していますので、新年はぜひ実物からパワーをもらいましょう。



現在の友だち登録数37,400人!

行田市公式LINEの
友だち登録はこちらから!

●市政・イベント・防災などに関する行政情報を発信します。



ホームページ <https://www.city.gyoda.lg.jp>



環境にやさしい
植物油インキ